

業 績 集

2014年4月～2015年3月

2015年4月～2016年3月

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
先進治療科学専攻感覚器病学講座
皮膚科学

業績集発刊にあたって

— ピラミッドの礎石 —

2015年から16年にかけて中南米諸国でジカ熱なる感染症が流行している。一昨年日本で相次いで感染例が報告されたデング熱は学生時代に教科書でその名前は知っていた。しかしジカ熱は初めて耳にする。そんな病気もあるのかと思いつつニュースの報道をみていると、「ジカ熱に詳しい専門家」がインタビューに答えてこの病気を解説している。つくづくと研究の世界の幅の広さと奥の深さを実感する。

入局して5年目、当時の田代教授にお願いして村松教授が主宰される第二生化学の研究室で勉強する機会をいただいた。医学部を卒業して皮膚科の臨床を学ぶ中で、皮膚科医が皮膚科学だけを勉強していても不十分であることに気付いた。

「臨床医にも基礎医学の知識が欠かせない。広く生命科学の知識をもって疾患を、そして患者さんをみなければ」

との思いを強くしていった。生化学教室での二年間はかけがえのない時で、今の自分にとって大きな支えとなっている。多くのことを学んだ。その中の印象深い一つは、

「自分の知らない領域がいかに広いか、そして自分の知らないことに詳しい人がいかに多いか」ということである。あの感覚は今でも深く胸に刻まれている。

全く知らなかったジカ熱を研究している人がいる。医学研究の世界の底力を目の当たりにした思いである。その一方で思うことは、医学は人間が営む全ての学問のごく一部であり、皮膚科学も感染症学も更にその中の狭い一領域に過ぎないという事実。専門領域に閉じこもって勉強しても達成できることは限られる。様々なことに興味を持ち広い視野を持つことが大切である。

昨年（2015年）の夏、文部科学省が国立大学改革の一環として文系学部の縮小・廃止を含む見直しを要請した。暗澹たる思いである。教員養成系の学部も対象という。教育こそ国家の基盤ではないか。国の意図するところは、「結果に直結する学問・研究だけを行なえばよろしい」ということのようなのである。敢えて卑俗な表現をする。「直ちに金になる研究だけをしろ」と。実際そのような品格に欠けることを言いたくなる現況である。理系の中でもその傾向が窺える。国立大学が独立法人化された後、研究費の配分が随分と偏ってきている。国が目標として掲げる最先端の研究に対して重点的に配分されるようになってきた。ジカ熱の研究に対する研究費は微々たるものであろうと推測する。しかしジカ熱の研究が今、社会に役立っている。無駄な研究はない。

国はバベルの塔を築こうとしているかのようである。頂点を支える裾野が視野に入っていない。目指すべきは伝説に過ぎないバベルの塔ではなく、四千年を越えて存在し続けるピラミッドである。ピラミッドが偉容を保つには最下段の礎石も欠かせない。

医師としてのキャリアも自分のピラミッドを築くようなものである。皮膚科学教室の諸君には広い視野を持って大いに勉強することを期待している。一度は臨床から離れて研究を経験することを勧める。必ず将来の大きな糧になる。臨床にあっては「患者さんに学ぶ」姿勢を忘れず一例一例の症例を大切し、新しいことを学んだら論文として報告するよう心掛けて欲しい。そうして産み出される一つ一つの成果がピラミッドの礎石となる。

2016年4月
金蔵拓郎

目 次

業績集発刊にあたって	1
------------------	---

業 績

2014 (H26) 年 4 月～2015 (H27) 年 3 月

I. 著 書	8
II. 総 説	9
III. 原 著	10
IV. その他	12
V. 学会発表	13
VI. 社会への貢献 (マスメディア等)	26
VII. 学会・講演会などの開催	27
VIII. 学会活動	28
IX. Journal Review	30
X. 学内活動	31
XI. 学生講義	32
XII. 社会活動	34
XIII. 文部省科学省科学研究費等取得	35
XIV. 特 許	35
XV. 受 賞	35
XVI. 学位取得者	36
XVII. 専門医取得者	36
XVIII. 教室員の動向	37

2015 (H27) 年 4 月～2016 (H28) 年 3 月

I. 著 書	42
II. 総 説	43
III. 原 著	44
IV. その他	46
V. 学会発表	47
VI. 社会への貢献 (マスメディア等)	60
VII. 学会・講演会などの開催	61
VIII. 学会活動	62
IX. Journal Review	64
X. 学内活動	65
XI. 学生講義	66
XII. 社会活動	68
XIII. 文部省科学省科学研究費等取得	69
XIV. 特 許	69
XV. 受 賞	69
XVI. 学位取得者	70
XVII. 専門医取得者	70
XVIII. 教室員の動向	71

2014 (H26) 年 4 月～2015 (H27) 年 3 月

I. 著 書

【欧文著書】

ナ シ

【和文著書】

- 1) ATL の診療実態・指針の分析による診療体制の整備
河井一浩
厚生労働科学研究費補助金（がん臨床研究事業）
ATL の診療実態・指針の分析による診療体制の整備
H25 年度総括・分担研究報告書 31-44（2014）
- 2) 紅皮症
金蔵拓郎
皮膚疾患最新の治療 2015-2016：51-52（2015.1）
- 3) シルクによる再生医療材料の開発 - 衣料から医療へ - [事例 4]創傷被覆材
金蔵拓郎
工業材料 63（2）：40-44（2015.2）
- 4) 老人性角化症
金蔵拓郎
南山堂 医学大辞典 第 20 版：2608（2015.3）
- 5) 老人性血管腫
金蔵拓郎
南山堂 医学大辞典 第 20 版：2608（2015.3）
- 6) 老人性色素斑
金蔵拓郎
南山堂 医学大辞典 第 20 版：2608（2015.3）
- 7) 老人性脂腺増殖症
金蔵拓郎
南山堂 医学大辞典 第 20 版：2608-9（2015.3）
- 8) 老人性白斑
金蔵拓郎
南山堂 医学大辞典 第 20 版：2609（2015.3）
- 9) 老人性疣贅
金蔵拓郎
南山堂 医学大辞典 第 20 版：2609-10（2015.3）

Ⅱ. 総 説

【欧文総説】

ナ シ

【和文総説】

- 1) 【食物アレルギーの最近の考え方】 食物アレルギーと皮膚
河井一浩
新潟医療生活協同組合機関紙 新潟医療生協 452 (8) : 3 (2014.8)

Ⅲ. 原 著

【欧文原著】

- 1) Forensic diagnosis of ante- and postmortem burn based on aquaporin-3 gene expression in the skin.
Kubo H, Hayashi T, Ago K, Ago M, Kanekura T, Ogata M.
Leg. Med. (Tokyo). 16(3): 128-134 (2014.5)
- 2) Effect of anti-CCR4 monoclonal antibody (mogamulizumab) on adult T-cell leukemia-lymphoma: Cutaneous adverse reactions may predict the prognosis.
Yonekura K, Kanzaki T, Gunshin K, Kawakami N, Takatsuka Y, Nakano N, Tokunaga M, Kubota A, Takeuchi S, Kanekura T, Utsunomiya A.
J. Dermatol. 41(3): 239-244 (2014.5)
- 3) Adult-onset Still disease with peculiar persistent plaques and papules.
Yoshifuku A, Kawai K, Kanekura T.
Clin. Exp. Dermatol. 39(4): 503-505 (2014.6)
- 4) Trichothiodystrophy group A: a first Japanese patient with a novel homozygous nonsense mutation in the GTF2H5 gene.
Moriwaki S, Saruwatari H, Kanzaki T, Kanekura T, Minoshima S.
J. Dermatol. 41(8): 705-708 (2014.8)
- 5) Allergic reaction caused by acesulfame potassium in foods.
Katsue H, Higashi Y, Baba N, Aoki M, Sakanoue M, Matsushita S, Kanekura T.
Contact. Dermatitis. 71(4): 251-252 (2014.10)
- 6) Teicoplanin-induced purpuric eruption with leukocytoclastic vasculitis.
Uchida Y, Higashi Y, Kanekura T.
Eur. J. Dermatol. 24(6): 689-690 (2014.11-12)
- 7) Hypomethylation and overexpression of ITGAL(CD11a) in CD4(+) T cells in systemic sclerosis.
Wang Y, Shu Y, Xiao Y, Wang Q, Kanekura T, Li Y, Wang J, Zhao M, Lu Q, Xiao R.
Clin. Epigenetics. 6(1): 25 (2014.11)
- 8) Cleaved CD147 shed from the surface of malignant melanoma cells activates MMP2 produced by fibroblasts.
Hatanaka M, Higashi Y, Fukushige T, Baba N, Kawai K, Hashiguchi T, Su J, Zeng W, Chen X, Kanekura T.
Anticancer. Res. 34(12): 7091-7096 (2014.12)
- 9) Rare case of Langerhans cell sarcoma with cutaneous manifestation arising on the inguinal region.
Jimura N, Matsushita S, Baba N, Kubo H, Takeda K, Fukushige T, Fujii K, Kanekura T.
J. Dermatol. 41(12): 1127-1128 (2014.12)

【和文原著】

- 1) 化学療法中に B 型肝炎ウイルス再活性化が認められた成人 T 細胞白血病/リンパ腫の 1 例
下川充芳、山筋好子、久留光博、馬場直子、指宿敦子、内田洋平、米倉健太郎、
河井一浩、金蔵拓郎
皮膚科の臨床 56 (7) : 971-974 (2014.7)

- 2) Erdheim-Chester 症候群の 1 例
光井聖子、藤井一恭、大塚文男、岩月啓氏
皮膚科の臨床 56 (10) : 1524-1525 (2014.10)
- 3) 急性汎発性膿疱性細菌疹
久留光博、三好逸男
皮膚病診療 37 (2) : 123-126 (2015.2)

IV. その他

- 1) 世界の科学者 (229) Qianjin Lu 先生
金蔵拓郎
西日本皮膚科 76 (4) : 381-382 (2014.8)
- 2) 世界の科学者 (231) Annamari Ranki 先生
金蔵拓郎
西日本皮膚科 76 (6) : 623-624 (2014.10)
- 3) 創立 70 周年記念誌発刊にあたって
金蔵拓郎
鹿児島大学医学部創立 70 周年記念誌 (2014.11)
- 4) 皮膚科学講座二十年のあゆみ
金蔵拓郎
鹿児島大学医学部創立 70 周年記念誌 : 359-364 (2014.11)
- 5) 創立 70 周年記念事業について
金蔵拓郎
鹿児島大学医学部創立 70 周年記念誌 : 711-717 (2014.11)
- 6) 鹿児島大学医学部 70 周年・西洋医学開講 150 周年記念式典・祝賀会
金蔵拓郎
鹿児島大学医学部創立 70 周年記念誌 : 707-710 (2014.11)
- 7) PMSD シンポジウム 3「顆粒球吸着療法」GMA の有用性と課題が明らかに
金蔵拓郎
第 29 回日本乾癬学会学術大会記録集 : 1 (2014.12)
- 8) 鹿児島大学医学部七十年史・五十年史・二十五年史挨拶文
金蔵拓郎
鹿児島大学医学部七十年史・五十年史・二十五年史

V. 学会発表

【国際・特別（招請）講演】

ナ シ

【国際・一般講演】

ナ シ

【国際・教育講演】

- 1) A New Therapy for GPP; GMA
Kanekura T.
3rd EADC

September 24-26, 2014 Jeju, Korea

【国際・シンポジウム】

ナ シ

【国際・ワークショップ】

ナ シ

【国際・セミナー】

ナ シ

【国際・一般演題】

- 1) The sebaceous gland as a cycling skin appendage.
Hinde E, Haslam I, Schneider M, Reis-Matos T, Imanishi A, Kawai K, Kloepper K, Paus R.
2014 British Society of Investigative Dermatology Annual Meeting
April 7-9, 2014 Newcastle, UK
- 2) The Etiologic Role of Human Papillomavirus in Penile Cancers: A Study in Vietnam
Do HT, Koriyama C, Khan NA, Higashi M, Kato T, Le NT, Matsushita S, Kanekura T, Akiba S.
21st Regional Conference of Dermatology
April 9-12, 2014 Danang, Vietnam
- 3) High concentration glucose ameliorates atopic dermatitis through active HMGB1 release.
Yamada K, Kanekura T, Matsushita K.
12th Congress of the European Society of Contact Dermatitis.
June 25-28, 2014 Barcelona, Spain

- 4) Epidermal plasmacytoid dendritic cells and disease severity in patients with psoriasis.
Uchida Y, Kawai K, Kanekura T.
44th Annual Meeting of the European Society for Dermatological Research
September 10-13, 2014 Copenhagen, Denmark
- 5) CD147 depletion induces the phosphorylation of EGFR by down regulation of cdc25c.
Hatanaka M, Higashi Y, Kawai K, Su J, Zeng W, Chen X, Kanekura T.
44th Annual Meeting of the European Society for Dermatological Research
September 10-13, 2014 Copenhagen, Denmark
- 6) HSP72 is a possible target for combination therapy with HDAC inhibitor.
Fujii K, Suzuki N, Idogawa M, Kondo T, Iwatsuki K, Kanekura T.
44th Annual Meeting of the European Society for Dermatological Research
September 10-13, 2014 Copenhagen, Denmark
- 7) The transcription factor Snail expressed in cutaneous squamous cell carcinoma induces epithelial-mesenchymal transition and down-regulates COX-2.
Shimokawa M, Ozawa M, Higashi Y, Kanekura T.
44th Annual Meeting of the European Society for Dermatological Research
September 10-13, 2014 Copenhagen, Denmark
- 8) Efficacy of Myeloid Lineage Leucocyte Depletion by Extracorporeal Adsorption in Patients with Pyoderma Gangrenosum or Psoriasis Associated with Inflammatory Bowel Disease.
Ohmori T, Abbi R, Saniabadi, Ikeda S, Kanekura T.
22nd UEG Week 2014
October 18-22, 2014 Vienna, Austria

【国際・その他】

ナ シ

【国内・特別（招請）講演】

- 1) 膿疱性乾癬に対する顆粒球吸着除去療法-診療ガイドラインにおける位置付け-
金蔵拓郎（鹿児島大学大学院皮膚科学）
御茶ノ水乾癬勉強会
2014年5月17日 東京
- 2) 補完代替医療を考える
金蔵拓郎（鹿児島大学大学院皮膚科学）
鶴陵会熊本支部総会
2014年10月18日 熊本

【国内・一般講演】

ナ シ

【国内・教育講演】

- 1) 補完代替医療を考える
金蔵拓郎（鹿児島大学大学院皮膚科学）
大阪工業大学生命工学科機能性食品学持論
2014年5月28日 大阪
- 2) 『アドキュア（AD Cure）』アトピー性皮膚炎教育入院の試み
西馬場理恵（鹿児島大学大学院皮膚科学）
第3回鹿児島アレルギー講演会
2015年2月5日 鹿児島

【国内・シンポジウム】

- 1) リンパ節転移を生じた乳房外パジェット病の問題点
松下茂人（鹿児島大学大学院皮膚科学）
第57回日本形成外科学会総会・学術集会
2014年4月9～11日 長崎
- 2) オートファジーと細胞死のパラフィン切片免疫組織化学
蓮井和久¹、永井 拓²、賈 心善⁶、青笹克之⁷、松山隆美²、金蔵拓郎³、河野嘉文⁴、
出雲周二⁵、田代幸恵⁸、柴鶴義人^{9,11}、村田長芳^{10,11}、佐藤榮一^{8,11}
（¹鹿児島大学大学院腫瘍学、²鹿児島大学大学院免疫学、³鹿児島大学大学院皮膚科学、
⁴鹿児島大学大学院小児科学、⁵鹿児島大学大学院分子病理病態研究、
⁶中国医科大学病理教研室、⁷大阪大学大学院病態病理学、
⁸公益財団法人昭和会今給黎総合病院病理部、⁹鹿児島県赤十字血液センター、
¹⁰原田学園鹿児島医療技術専門学校、¹¹鹿児島大学）
第55回日本組織細胞化学会総会
2014年9月27～28日 松本
- 3) ファブリー病に対する新規治療法の開発を目指しています
櫻庭 均¹、兔川忠靖²、月村考宏²、川島育夫^{1,3}、佐藤温子¹、児玉 敬²、福重智子⁴、
金蔵拓郎⁴、齋藤静司⁵、大野一樹⁶（¹明治薬科大学臨床遺伝学、
²明治薬科大学生体機能分析学、³東京都医学総合研究所分子医療プロジェクト、
⁴鹿児島大学大学院皮膚科学、⁵北海道情報大学医療情報学科、
⁶東京工業大学情報生命博士教育院）
臨床遺伝学公開シンポジウム2015「リソソーム病 現在と未来」
2015年3月12日 東京

【国内・ワークショップ】

- 1) GCAP療法の新しい発展 膿疱性乾癬に対する顆粒球吸着療法
坂ノ上正直（鹿児島大学大学院皮膚科学）
第35回日本アフェレシス学会
2014年9月26～28日 東京

【国内・セミナー】

- 1) 膿疱性乾癬に対する顆粒球吸着療法について 膿疱性乾癬に対する顆粒球吸着療法
坂ノ上正直 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
第 65 回日本皮膚科学会中部支部学術大会

2014 年 10 月 25～26 日 大阪

【国内・一般演題】

- 1) 鹿児島大学皮膚科で経験したメルケル細胞癌 18 例の検討-腫瘍巣への CD8 陽性細胞の浸潤
パターンと予後-
青木恵美、松下茂人、金蔵拓郎 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
第 57 回日本形成外科学会総会・学術集会

2014 年 4 月 9～11 日 長崎

- 2) スルバクタム・アンピシリンによる接触蕁麻疹症候群の 1 例
東 裕子¹、有村亜希子¹、青木恵美¹、猿渡 浩²、金蔵拓郎¹
(¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²鹿児島市)
長崎大学医学部皮膚科学教室開講 100 周年記念
日本皮膚科学会長崎地方会第 322 回例会

2014 年 4 月 12～13 日 長崎

- 3) 2013 年鹿児島大学病院皮膚科外来、紹介患者、パッチテスト統計
西馬場理恵、久保秀通、地村 望、有村亜希子、勝江浩未、馬場直子、馬場淳徳、
山筋好子、畠中美帆、青木恵美、吉福明日香、内田洋平、多田浩一、米良健太郎、
武田浩一郎、東 裕子、松下茂人、金蔵拓郎 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
第 168 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会

2014 年 4 月 20 日 鹿児島

- 4) 2013 年鹿児島大学病院皮膚科入院患者統計
多田浩一、有村亜希子、地村 望、勝江浩美、青木恵美、山筋好子、馬場直子、
畠中美帆、久留光博、馬場淳徳、西馬場理恵、米良健太郎、久保秀通、武田浩一郎、
東 裕子、松下茂人、金蔵拓郎 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
第 168 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会

2014 年 4 月 20 日 鹿児島

- 5) 2013 年鹿児島大学病院皮膚科死亡統計
山筋好子、武田浩一郎、久保秀通、多田浩一、青木恵美、馬場直子、畠中美帆、
久留光博、馬場淳徳、勝江浩未、有村亜希子、地村 望、吉福明日香、内田洋平、
西馬場理恵、米良健太郎、東 裕子、松下茂人、金蔵拓郎 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
第 168 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会

2014 年 4 月 20 日 鹿児島

- 6) 2013 年鹿児島大学病院皮膚科手術統計
 松下茂人、武田浩一郎、久保秀通、米良健太郎、多田浩一、西馬場理恵、畠中美帆、
 馬場直子、山筋好子、青木恵美、勝江浩未、有村亜希子、地村 望、内田洋平、
 東 裕子、金蔵拓郎（鹿児島大学大学院皮膚科学）
 第 168 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
 2014 年 4 月 20 日 鹿児島
- 7) 春陽会中央病院への出向を終えて
 下川充芳（鹿児島大学大学院皮膚科学）
 第 168 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
 2014 年 4 月 20 日 鹿児島
- 8) 今給黎総合病院への出向を終えて
 指宿敦子、児浦純生（今給黎総合）
 第 168 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
 2014 年 4 月 20 日 鹿児島
- 9) シタラビン（キロサイド®）による手足症候群の 1 例
 勝江浩未¹、西馬場理恵¹、青木恵美¹、馬場直子¹、久保秀通¹、武田浩一郎¹、
 松下茂人¹、高橋宣宏²、金蔵拓郎¹（¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²同小児科）
 第 168 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
 2014 年 4 月 20 日 鹿児島
- 10) Giant cell tumor of tendon sheath の 3 例
 地村 望、多田浩一、久保秀通、武田浩一郎、松下茂人、金蔵拓郎
 （鹿児島大学大学院皮膚科学）
 第 168 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
 2014 年 4 月 20 日 鹿児島
- 11) 手術痕に沿って皮膚転移を認めた胃癌の 1 例
 青木恵美¹、久保秀通¹、松下茂人¹、内門泰斗²、金蔵拓郎¹
 （¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²同消化器外科）
 第 168 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
 2014 年 4 月 20 日 鹿児島
- 12) 皮膚病変から腫瘍の原発を診断しえた 2 例
 有村亜希子¹、青木恵美¹、多田浩一¹、地村 望¹、武田浩一郎¹、内田洋平¹、
 松下茂人¹、西 正行²、金蔵拓郎¹（¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²始良市）
 第 168 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
 2014 年 4 月 20 日 鹿児島
- 13) 当科におけるロドデノール含有化粧品による色素脱失症例の検討
 東 裕子、金蔵拓郎（鹿児島大学大学院皮膚科学）
 第 168 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
 2014 年 4 月 20 日 鹿児島

- 14) 平成 26 年度鹿児島大学大学院医歯学総合研究科感覚器病学講座皮膚科学教室の体制
米良健太郎（鹿児島大学大学院皮膚科学）
第 168 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
2014 年 4 月 20 日 鹿児島
- 15) 皮膚の創傷治療外用剤の開発
金蔵拓郎（鹿児島大学大学院皮膚科学）
鹿児島大学知的財産審査会
2014 年 5 月 21 日 鹿児島
- 16) アセスルファミカリウムによる蕁麻疹の 1 例
勝江浩未、東 裕子、馬場直子、青木めぐみ、坂ノ上正直、久保秀通、武田浩一郎、
松下茂人、金蔵拓郎（鹿児島大学大学院皮膚科学）
第 113 回日本皮膚科学会総会・学術大会
2014 年 5 月 30 日～6 月 1 日 京都
- 17) ランゲルハンス細胞肉腫の 1 例
地村 望、馬場直子、福重智子、久保秀通、武田浩一郎、松下茂人、金蔵拓郎
（鹿児島大学大学院皮膚科学）
第 113 回日本皮膚科学会総会・学術大会
2014 年 5 月 30 日～6 月 1 日 京都
- 18) びまん性扁平黄色腫から multiple myeloma の診断に至った 1 例
有村亜希子、青木恵美、武田浩一郎、東 裕子、金蔵拓郎、久保秀通、松下茂人
（鹿児島大学大学院皮膚科学）
第 113 回日本皮膚科学会総会・学術大会
2014 年 5 月 30 日～6 月 1 日 京都
- 19) 鼻リンパ腫におけるマクロファージと樹状細胞の免疫組織化学的検討：マクロファージと
樹状細胞はリンパ腫亜型で特徴的な細胞性微小環境を構成している。
金蔵拓郎（鹿児島大学大学院皮膚科学）
第 54 回日本リンパ網内系学会
2014 年 6 月 19～21 日 山形
- 20) Neurocutaneous melanosis の 1 例
地村 望、青木恵美、松下茂人、金蔵拓郎（鹿児島大学大学院皮膚科学）
第 12 回南九州地区合同皮膚科地方会
2014 年 6 月 28～29 日 熊本
- 21) Pazopanib が奏効した悪性紡錘形細胞腫瘍の 1 例
青木恵美¹、地村 望¹、勝江浩未¹、松下茂人¹、根井悠里江²、宮内秀明²、
金蔵拓郎¹（¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²霧島市）
第 12 回南九州地区合同皮膚科地方会
2014 年 6 月 28～29 日 熊本

- 22) カルボシテインによる固定薬疹の1例
 山筋好子¹、多田浩一¹、東 裕子¹、西 正行²、金蔵拓郎¹
 (鹿児島大学大学院皮膚科学、² 始良市)
 第12回南九州地区合同皮膚科地方会
 2014年6月28～29日 熊本
- 23) 症例供覧
 三好逸男¹、久留光博² (¹ 鹿児島市立病院皮膚科、² 鹿児島大学大学院皮膚科学)
 第12回南九州地区合同皮膚科地方会
 2014年6月28～29日 熊本
- 24) ランゲルハウス細胞肉腫の1例
 地村 望、馬場直子、福重智子、久保秀通、武田浩一郎、松下茂人、金蔵拓郎
 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
 第30回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会
 2014年7月4～5日 東京
- 25) 腋窩リンパ節原発のメルケル細胞癌の1例
 勝江浩未、馬場直子、久保秀通、武田浩一郎、松下茂人、金蔵拓郎
 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
 第30回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会
 2014年7月4～5日 東京
- 26) 経皮的冠動脈形成術後に生じた右上背部放射線皮膚潰瘍の1例
 青木恵美、松下茂人、金蔵拓郎 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
 第95回九州・沖縄形成外科学会
 2014年7月12日 博多
- 27) A retrospective study of the patients with chronic- and smoldering-type adult T-cell leukemia-lymphoma in Japan.
 Katsuya H¹, Ishitsuka K¹, Amano M², Kawai K³, Hino R⁴, Utsunomiya A⁵, Hanada S⁶,
 Yamanaka T, ⁷ Suzumiya J⁸, Tamura K¹. (¹Division of Medical Oncology, Hematology and
 Infectious Diseases, Department of Medicine School of Medicine, Fukuoka University,
²Department of Dermatology, Miyazaki University, ³Department of Dermatology, Kagoshima
 University Graduate School of Medical and Dental Sciences, ⁴Department of Dermatology,
 University of Occupational and Environmental Health, ⁵Department of Hematology, Imamura
 Bun-in Hospital, ⁶Department of Hematology, National Hospital Organization Kagoshima
 Medical Center, ⁷Department of Biostatistics, Graduate School of Medicine, Yokohama City
 University, ⁸Cancer Center, Shimane University Hospital)
 第12回日本臨床腫瘍学会学術集会
 2014年7月17～19日 福岡

- 28) 疣贅状外観を呈した乾癬
 藤井一恭、馬場淳徳、有村亜希子、多田浩一、東 裕子、松下茂人、金蔵拓郎
 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
 森田栄伸教授・山元 修教授就任 10 周年記念
 第 128 回山陰・第 24 回島根合同開催地方会
 2014 年 8 月 30～31 日 松江
- 29) 疣贅状外観を呈した乾癬の 1 例
 馬場淳徳、有村亜希子、多田浩一、藤井一恭、東 裕子、松下茂人、金蔵拓郎
 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
 第 29 回日本乾癬学会学術大会
 2014 年 9 月 19～20 日 高知
- 30) 膿疱性乾癬に対する顆粒球吸着除去療法の市販後使用成績調査 (2 年次)
 東 裕子、金蔵拓郎 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
 第 29 回日本乾癬学会学術大会
 2014 年 9 月 19～20 日 高知
- 31) HSPA1A は HDAC 阻害剤による内因性アポトーシスを阻害する
 藤井一恭^{1,2}、井戸川雅史³、近藤 格⁴、岩月啓氏²、金蔵拓郎¹
 (1 鹿児島大学大学院皮膚科学、² 岡山大学皮膚科、
³ 札幌医科大学フロンティア医学研究所ゲノム医科学部門、
⁴ 国立がん研究センター創薬プロテオーム研究分野)
 第 73 回日本癌学会学術総会
 2014 年 9 月 25～27 日 横浜
- 32) 喘息症状で発症しびまん性肺陰影を呈したクロピドグレルによる薬剤性好酸球増加症の 1 例
 成田淳一¹、河辺昌哲¹、河井一浩²、小堺貴司³ (1 木戸病院呼吸器内科、² 同皮膚科、
³ 新潟大学医学部大学院医歯学総合研究科血液・内分泌・代謝内科)
 第 135 回日本内科学会信越地方会
 2014 年 10 月 4 日 松本
- 33) 蛍光標識二次元電気泳動法による HDAC 阻害剤の治療抵抗性原因タンパク質の同定
 藤井一恭^{1,2}、鈴木規弘²、近藤 格³、金蔵拓郎¹、岩月啓氏²
 (1 鹿児島大学大学院皮膚科学、² 岡山大学皮膚科、
³ 国立がん研究センター創薬プロテオーム研究分野)
 第 65 回日本電気泳動学会総会
 2014 年 10 月 24～25 日 横浜

- 34) Protomap を用いた天疱瘡の病因抗体による発現分子の解析
山口麻里¹、青山裕美¹、藤井一恭¹、近藤 格²、岩月啓氏¹ (¹岡山大学皮膚科、
²国立がん研究センター創薬プロテオーム研究分野)
第 65 回日本電気泳動学会総会
2014 年 10 月 24～25 日 横浜
- 35) 全国医療機関における成人 T 細胞白血病・リンパ腫 (ATL) 患者の実態調査 : 2010 年～2011 年
野坂生郷¹、岩永正子²、石澤賢一³、石田陽治⁴、内丸 薫⁵、石塚賢治⁶、天野正宏、
石田高司⁷、今泉充孝⁸、鶴池直邦⁹、宇都宮 與¹⁰、大島孝一¹¹、河井一浩¹²、
田中淳司¹³、戸倉新樹¹⁴、飛内賢正¹⁵、渡邊俊樹¹⁶、塚崎邦弘¹⁷
(¹熊本大学医学部附属病院がんセンター血液学、
²東京慈恵会医科大学総合健診・予防医学センター疫学・生物統計、
³東北大学大学院医学系研究科血液分子治療学寄付講座、
⁴岩手医科大学内科学講座血液・腫瘍内科分野、
⁵東京大学医科学研究所附属病院血液腫瘍内科、
⁶福岡大学医学部腫瘍・血液・感染症内科、⁷名古屋市立大学腫瘍・免疫内科学、
⁸長崎大学病院血液内科、⁹九州がんセンター血液内科、¹⁰慈愛会今村病院分院血液内科、
¹¹久留米大学医学部病理、¹²木戸病院皮膚科、¹³東京女子医科大学血液内科講座、
¹⁴浜松医科大学医学部皮膚科学、¹⁵国立がん研究センター中央病院血液内科、
¹⁶東京大学大学院新領域創成科学研究科ウイルス腫瘍学、
¹⁷国立がん研究センター東病院血液内科)
第 76 回日本血液学会学術集会
2014 年 10 月 31～11 月 2 日 大阪
- 36) インフリキシマブの paradoxical reaction に対して granulocyte and monocyte adsorption
apheresis (GMA) が奏効した 1 例
勝江浩未、有村亜希子、畠中美帆、松下茂人、金蔵拓郎 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
第 66 回日本皮膚科学会西部支部学術大会
2014 年 11 月 8～9 日 高松
- 37) 骨髄異形成症候群を合併した Sweet 病
地村 望¹、畠中美帆¹、武田浩一郎¹、林田真衣子²、吉満 誠²、松下茂人¹、
金蔵拓郎¹ (¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²同血液膠原病内科)
第 66 回日本皮膚科学会西部支部学術大会
2014 年 11 月 8～9 日 高松
- 38) 経皮的冠動脈形成術後に生じた筋に達する右上背部放射線皮膚潰瘍の 1 例
青木恵美、地村 望、勝江浩未、松下茂人、金蔵拓郎 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
第 66 回日本皮膚科学会西部支部学術大会
2014 年 11 月 8～9 日 高松

- 39) アセスルファミカリウムによる蕁麻疹の1例
地村 望、勝江浩未、東 裕子、馬場直子、青木恵美、坂ノ上正直、藤井一恭、
松下茂人、金蔵拓郎 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
第44回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会総会学術大会
2014年11月21～23日 仙台
- 40) ダーマボンドアドバンスド®による接触皮膚炎の1例
多田浩一¹、山筋好子¹、勝江浩未¹、東 裕子¹、藤井一恭¹、松下茂人¹、貴島祐子²、
金蔵拓郎¹ (¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²同乳腺内分泌外科)
第44回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会総会学術大会
2014年11月21～23日 仙台
- 41) 小麦による食物依存性運動誘発アナフィラキシーの2例
勝江浩未¹、馬場淳徳¹、畠中美帆¹、多田浩一¹、米良健太郎¹、藤井一恭¹、
東 裕子¹、愛甲隆昭²、金蔵拓郎¹ (¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²鹿児島市)
第170回日本皮膚科学会鹿児島地方会
2014年11月30日 鹿児島
- 42) 好酸球性膿疱性毛包炎に対するニコチンパッチの治療効果
吉福明日香¹、東裕子¹、松下茂人²、河井一浩³、金蔵拓郎¹
(¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²鹿児島医療センター、³木戸病院)
第170回日本皮膚科学会鹿児島地方会
2014年11月30日 鹿児島
- 43) Eruptive pruritic papular porokeratosis の2例
多田浩一¹、東 裕子¹、吉井典子²、金蔵拓郎¹ (¹鹿児島大学大学院皮膚科学、
²鹿児島市)
第170回日本皮膚科学会鹿児島地方会
2014年11月30日 鹿児島
- 44) 体幹に生じた硬化性萎縮性苔癬
西馬場理恵¹、地村 望¹、藤井一恭¹、東 裕子¹、西 正行²、金蔵拓郎¹
(¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²始良市)
第170回日本皮膚科学会鹿児島地方会
2014年11月30日 鹿児島
- 45) Spindle cell lipoma の1例
下川充芳¹、地村 望¹、多田浩一¹、藤井一恭¹、東 裕子¹、米良修二²、金蔵拓郎¹
(¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²鹿児島市)
第170回日本皮膚科学会鹿児島地方会
2014年11月30日 鹿児島

- 46) エトレチナートが奏功した再発性ケラトアkantomaの1例
米良健太郎、馬場直子、勝江浩未、有村亜希子、多田浩一、藤井一恭、東 裕子、
金蔵拓郎（鹿児島大学大学院皮膚科学）
第170回日本皮膚科学会鹿児島地方会
2014年11月30日 鹿児島
- 47) 尋常性乾癬の長期治療経過中に多発性皮膚悪性腫瘍を生じた1例
地村 望¹、下川充芳¹、川平尚生¹、多田浩一¹、坂口郁代²、藤井一恭¹、東 裕子¹、
金蔵拓郎¹（¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²済生会川内）
第170回日本皮膚科学会鹿児島地方会
2014年11月30日 鹿児島
- 48) 類器官母斑から発生し多彩な分化を示した二次性皮膚腫瘍の2例
青木恵美¹、馬場淳徳¹、地村 望¹、多田浩一¹、東 裕子¹、藤井一恭¹、田中隆光²、
松下茂人³、四本信一⁴、金蔵拓郎¹（¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²鹿児島市、
³鹿児島医療センター、⁴始良市）
第170回日本皮膚科学会鹿児島地方会
2014年11月30日 鹿児島
- 49) 多彩な病理所見を呈した基底細胞癌の1例
川平尚生¹、山筋好子¹、西馬場理恵¹、米良健太郎¹、藤井一恭¹、東 裕子¹、
持富勇次²、金蔵拓郎¹（¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²南さつま市）
第170回日本皮膚科学会鹿児島地方会
2014年11月30日 鹿児島
- 50) 皮膚科保険審査委員会からのお知らせ（2014年）
三好逸男^{1†*}、松下茂人^{2†**}、野元 茂^{3*}、久留博史^{3**}（¹鹿児島市立病院皮膚科、
²鹿児島大学大学院皮膚科学、³鹿児島市、[†]日皮西部支部保険委員、^{*}国保審査委員、
^{**}社保審査委員）
第170回日本皮膚科学会鹿児島地方会
2014年11月30日 鹿児島
- 51) Transgenic RGD シルクフィブロインは創傷治癒を促進する
馬場淳徳¹、松下茂人¹、北山香澄²、中澤靖元²、朝倉哲郎²、谷本昭英³、金蔵拓郎¹
（¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²東京農工大工学部生命工学科、
³鹿児島大学大学院分子細胞病理学）
第170回日本皮膚科学会鹿児島地方会
2014年11月30日 鹿児島

- 52) ER signaling is activated to protect human HaCaT keratinocytes from ER stress induced by environmental doses of UVB.
Mera K¹, Kawahara K², Tada K¹, Kawai K¹, Hashiguchi T², Maruyama I², Kanekura T¹.
(¹Department of Dermatology, Field of Sensory Organology, Kagoshima University Graduate School of Medical and Dental Sciences, ²Department of Laboratory and Vascular Medicine Cardiovascular and Respiratory Disorders Advanced Therapeutics, Kagoshima University Graduate School of Medical and Dental Sciences)
第 28 回表皮細胞研究会
2014 年 12 月 6 日 鹿児島
- 53) The role of versican on the pathogenesis of Sèzary syndrome.
Fujii K^{1,2,3}, Karpova M¹, Chen P¹, Kanekura T³, Iwatsuki K², Dummer R¹, Urosevic-Maiwald M¹. (¹Department of Dermatology, University of Zurich, Zurich, Switzerland, ²Department of Dermatology, Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences, Okayama, Japan, ³Department of Dermatology, Kagoshima University Graduate School of Medical and Dental Science, Kagoshima, Japan)
日本研究皮膚科学会第 39 回年次学術大会・総会
2014 年 12 月 12～14 日 大阪
- 54) 顆粒球吸着除去療法 (GMA) が奏功した血管炎の 1 例
川平尚生、坂ノ上正直、藤井一恭、東 裕子、金蔵拓郎 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
第 38 回皮膚脈管・膠原病研究会
2015 年 1 月 23～24 日 東京
- 55) 鹿児島大学皮膚科における過去 5 年間の皮膚筋炎症例の検討
馬場淳徳、藤井一恭、米良健太郎、多田浩一、下川充芳、青木恵美、久留光博、勝江浩未、地村 望、有村亜希子、東 裕子、金蔵拓郎 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
第 38 回皮膚脈管・膠原病研究会
2015 年 1 月 23～24 日 東京
- 56) 生検後に縮小した EBER 陰性 Diffuse large B cell lymphoma (DLBCL)
藤井一恭¹、馬場淳徳¹、勝江浩未¹、地村 望¹、東 裕子¹、米良修二²、金蔵拓郎¹
(¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²鹿児島市)
日本皮膚科学会第 372 回福岡地方会 今福信一皮膚科主任教授就任記念
2015 年 3 月 14～15 日 東京

【国内・その他】

- 1) 〈特別企画〉皮膚科の女性医師を考える会 企画
東 裕子（鹿児島大学大学院皮膚科学）
第 113 回日本皮膚科学会総会

2014 年 5 月 30～6 月 1 日 京都

- 2) 皮膚の創傷被覆材の開発
金蔵拓郎（鹿児島大学大学院皮膚科学）
鹿児島大学知的財産審査会

2015 年 2 月 4 日 鹿児島

VI. 社会への貢献（マスメディア等）

【テレビ】

- 1) NHK「さきどり」「未来をつむぐカイコパワー」
金蔵拓郎（2015年1月25日）

【ラジオ】

ナ シ

【新聞】

ナ シ

VII. 学会・講演会などの開催

【学 会】

- 1) 第 168 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
鹿児島大学医学部鶴陵会館 2014 年 4 月 20 日
- 2) 第 11 回日本褥瘡学会九州地方会学術集会
鹿児島市民文化ホール 2014 年 5 月 24 日
- 3) 第 12 回日本皮膚科学会南九州地区合同皮膚科地方会
(兼第 169 回日本皮膚科学会鹿児島地方会)
くまもと森都心プラザ (熊本) 2014 年 6 月 28~29 日
- 4) 第 170 回日本皮膚科学会鹿児島地方会
城山観光ホテル 2014 年 11 月 30 日

【学術講演会】

- 1) 佐山 浩二 (愛媛大学大学院医学系研究科皮膚科学教授)
「アトピー性皮膚炎 - ダニ抗原との接点 - 」
(共催) バイエル薬品株式会社[第 26 回鹿児島地区皮膚疾患病態治療研究会]
2014 年 4 月 20 日
- 2) 水谷 仁 (三重大学大学院医学系研究科皮膚科学教授)
「乾癬治療における外用療法の考え方」
(共催) 協和発酵キリン株式会社[第 21 回鹿児島皮膚アレルギー研究会]
2014 年 11 月 30 日

VIII. 学会活動

<金蔵拓郎>

- ・ 日本研究皮膚科学会（理事）
- ・ 鹿児島膠原病研究会（世話人）
- ・ 日本皮膚科学会（雑誌委員・西部支部運営委員会・代議員・西部支部学術委員）
- ・ 米国研究皮膚科学会
- ・ 日本生化学会
- ・ 日本免疫学会
- ・ 日本癌学会
- ・ 日本アレルギー学会
- ・ 日本リウマチ学会
- ・ 日本形成外科学会九州地方会
- ・ 日本リンパ網内系学会
- ・ 日本熱傷学会九州地方会
- ・ 鹿児島異種移植研究会（世話人）
- ・ 日本乾癬学会（理事）
- ・ 日本アフェレシス学会（評議員）
- ・ 鹿児島アレルギー懇話会（世話人）
- ・ 皮膚脈管・膠原病研究会（世話人）
- ・ 南九州腫瘍研究会（世話人）
- ・ 日本皮膚悪性腫瘍学会（評議員～2014.6/ 理事 2014.7～）
- ・ 鹿児島県性感染症研究会（世話人）
- ・ 鹿児島地区皮膚疾患病態治療研究会（代表世話人）
- ・ 鹿児島皮膚アレルギー研究会（代表世話人）
- ・ 鹿児島皮膚疾患の治療を語る会（代表世話人）
- ・ 鹿児島救急医学会（評議員）
- ・ The Open Dermatology Journal, Editorial Board Member
- ・ 第 10 回日中合同皮膚科学術会議組織委員
- ・ 表皮細胞研究会（監事）
- ・ 日本褥瘡学会九州地方会（世話人）
- ・ 日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会（評議員）
- ・ Journal of Dermatological Science, Editorial Board
- ・ 第 65 回日本皮膚科学会西部支部学術大会会長
- ・ 日本皮膚科学会膿疱性乾癬診療ガイドライン改定委員会委員
- ・ 第 11 回日本褥瘡学会九州地方会学術集会会長
- ・ 日本皮膚科学会医療安全対策委員
- ・ 日本皮膚科学会学会賞等選考委員
- ・ 第 28 回表皮細胞研究会開催（当番世話人）

<松下茂人>

- ・ 日本褥瘡学会九州地方会（世話人）
- ・ 日本皮膚科学会西部支部社保委員
- ・ 日本皮膚外科学会（評議員・代議員）
- ・ 日本皮膚悪性腫瘍学会（評議員）
- ・ 日本褥瘡学会九州地方会教育セミナー委員
- ・ 日本褥瘡学会（評議員・法人化委員）
- ・ 日本皮膚科学会皮膚悪性腫瘍指導専門委員会オブザーバー
- ・ 日本皮膚科学会西部支部代議員

<東 裕子>

- ・キャリア支援委員会委員
- ・日本皮膚科学会西部支部（代議員）
- ・日本研究皮膚科学会（評議員）

<藤井一恭>

- ・日本研究皮膚科学会（評議員）
- ・九州真菌懇話会（施設幹事）

<河井一浩>

- ・日本皮膚科学会
- ・日本研究皮膚科学会（評議員）
- ・日本皮膚悪性腫瘍学会（評議員）
- ・日本免疫学会
- ・日本移植学会
- ・The Society for Investigative Dermatology
- ・International Society for Cutaneous Lymphomas
- ・日本臨床皮膚科医会
- ・皮膚脈管膠原病研究会
- ・The American Association of Immunologists
- ・日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会
- ・J.Dermatol. (Section Editor)

IX. Journal Review

<金蔵拓郎>

• Arthritis. Care. Res. / Br. J. Dermatol. / PLOS. ONE. / TODJ. (2 編) / Ther.Apher.Dial.

<東 裕子>

• J.Dermatol. (2 編) / Pathology- Research and Practice.

<藤井一恭>

• J.Dermatol. (5 編)

<河井一浩>

• J.Dermatol. (48 編) / J.Dermatol.Sci. (2 編) / J.Invest.Dermatol. (9 編) / Sci. Rep.

X. 学内活動

<金蔵拓郎>

- ・ 医学部共同利用研究棟運営委員
- ・ 教員の評価に関する制度検討委員会委員
- ・ 研究フォーラム・インフォメーションオフィスメンバー
- ・ セカンドオピニオン外来担当医
- ・ 入試健康診断専門委員会
- ・ 教育委員会
- ・ 国際交流委員委員長
- ・ 学友会代議員副会長
- ・ 卒後臨床研修部研修管理委員会委員
- ・ 利益相反マネジメント委員会
- ・ 入試委員会医学科部会委員
- ・ 病院人事戦略室会議メンバー
- ・ 学位論文審査（副査2件）

<松下茂人>

- ・ 褥瘡対策チームチーフ
- ・ OSCE 評価
- ・ 職員研修会

XI. 学生講義

<金蔵拓郎>

- ・【医学部】[炎症性皮膚疾患 (2014.6.19 : M4)]
- ・【宮崎大学講義】[膠原病の皮膚症状 (2014.10.17 : M4)]
- ・【医学部】[膠原病の皮膚症状 (2014.12.9 : M3)]

<東 裕子>

- ・【歯学部】[水疱症 (2014.4.14 : M5)]
- ・【医学部】[乾癬・水疱症 (2014.6.19 : M4)]
- ・医学部 2 次試験 試験監督 (2015.2.26)

<藤井一恭>

- ・【医学部】[発疹学・診断学 (2014.6.16 : M4)]

<米良健太郎>

- ・【歯学部】[総論・構造機能皮疹 (2014.4.7 : M5)]
- ・【歯学部】[膠原病 (2014.5.12 : M5)]
- ・【医学部】[検査・治療 (2014.6.17 : M4)]
- ・【医学部】[皮膚腫瘍 (2014.6.17 : M4)]
- ・【看護】[疾病論Ⅲ (2014.10.22 : M2)]

<多田浩一>

- ・【歯学部】[腫瘍 (2014.4.21 : M5)]
- ・【歯学部】[金属アレルギーと皮膚 (2014.4.28 : M5)]
- ・【看護】[疾病論Ⅲ (2014.11.5 : M2)]

<下川充芳>

- ・【共通教育】[がんはなぜおこるのか (2014.5.15)]
- ・【歯学部】[試験監督 (2014.5.19 : M5)]
- ・学士編入学試験 試験監督 (2014.6.14)
- ・OSCE (医療面接) (2014.7.3)
- ・【医学部】[国試過去問解説 (1) (2014.7.16 : M6)]
- ・【医学部】[重症薬疹の診断と治療 (2014.10.3 : 研修医)]
- ・【共通教育】[健康を守り、創る (2014.10.8)]
- ・【看護】[疾病論Ⅲ (2014.10.29 : M2)]
- ・【医学部】[科目別試験 再試験監督 (2014.11.4 : M6)]
- ・【医学部】[皮膚感染症 (2014.12.3 : M3)]
- ・【医学部】[最終試験再試験監督 (2014.12.9 : M6)]
- ・【医学部】[基本的臨床手技実習 (2015.1.6 : M4)]
- ・センター試験 試験監督 (2015.1.17~18)
- ・【医学部】[基本的臨床手技実習 (2015.1.27 : M4)]
- ・OSCE (共用試験/救急蘇生) (2015.2.3)
- ・医学部 2 次試験 試験監督 (2015.2.25)
- ・医学部 2 次試験 試験監督 (2015.3.12)

<西馬場理恵>

- ・【医学部】[国試過去問解説 (2) (2014.7.17 : M6)]

<馬場淳徳>

- ・【鹿児島医療技術専門学校】[皮膚科全般 1/3 (2014.6.2 : M2)]
- ・【鹿児島医療技術専門学校】[皮膚科全般 2/3 (2014.6.9 : M2)]
- ・【鹿児島医療技術専門学校】[皮膚科全般 3/3 (2014.6.16 : M2)]
- ・【医学部】[科目別試験 試験監督 (2014.10.20 : M6)]

<久留光博>

- ・【鹿児島医療センター附属鹿児島看護学校】[病態学各論IV感覚器系 (皮膚) (2014.6.24)]

<山筋好子>

- ・【医学部】[発生・発達チュートリアル (2014.8.26 : M4)]
- ・【医学部】[発生・発達チュートリアル (2014.9.3 : M4)]
- ・【医学部】[発生・発達チュートリアル (2014.9.10 : M4)]

<有村亜希子>

- ・【医学部】[医療情報・検査チュートリアル (2014.10.20 : M4)]

<川平尚生>

- ・【野田女子高等学校】[成人看護学-皮膚 (前半) (2014.6.5 : M2)]
- ・【野田女子高等学校】[成人看護学-皮膚 (後半) (2014.6.12 : M2)]

<河井一浩>

- ・【医学部】[湿疹・皮膚炎 (2014.6.16 : M4)]

XII. 社会活動

<金藏拓郎>

- ・鹿兒島県感染症発生動向調査企画委員
- ・鹿兒島県特定疾患認定委員
- ・最高裁判所専門委員
- ・鹿兒島県 ATL 制圧委員会研究推進部会委員
- ・大阪地方裁判所損害賠償請求事件鑑定人
- ・本格焼酎部会会員
- ・焼酎発酵副産物研究会会員
- ・福岡地方裁判所平成 19 年（ワ）第 309 号 損害賠償請求事件専門委員
- ・鹿兒島県医師会評議員
- ・財団法人親和会評議員
- ・鹿兒島大学医学部創立 70 周年・西洋医学開講 150 年記念事業実行委員長

<松下茂人>

- ・鹿兒島県社会保険診療報酬請求書審査委員

XIII. 文部省科学省科学研究費等取得

- 1) 『中国東北地方の悪性腫瘍と関連疾患の発症要因の学術調査』
金蔵拓郎（分担）基盤研究（B）（海外学術調査）：420 万円
- 2) 『難治性皮膚疾患における新しい治療法の開発』
金蔵拓郎 受託研究
- 3) 『新規酵素の投与効果における病理学的解析』
金蔵拓郎（分担）受託研究
- 4) 『腫瘍細胞の生存調節因子としての CD147/basigin の機能解析』
金蔵拓郎（代表）基盤研究（C）：494 万円
- 5) 『有棘細胞癌・乳房外パジェット病における新規化学療法レジメンの確立と個別化への応用』
松下茂人（代表）基盤研究（C）：507 万円
- 6) 『HDAC 阻害剤の併用療法のターゲットとしての HSP70 の可能性の探究』
藤井一恭（代表）基盤研究（C）：533 万円

XIV. 特 許

- 1) 『加水分解フィブロインを含む軟膏及びその製造方法』
西 博人、金蔵拓郎 出願番号：2014-121441 出願日：2014 年 6 月 12 日

XV. 受 賞

【神崎賞】坂ノ上正直 [平成 26 年 4 月 19 日授与]

XVI. 学位取得者

- 1) 『NKG2D Triggers Cytotoxicity in Murine Epidermal $\gamma\delta$ T Cells via PI3K-Dependent, Syk/ZAP70-Independent Signaling Pathway.』
(マウス表皮内 $\gamma\delta$ T 細胞において NKG2D は PI3K 依存性、Syk/ZAP70 非依存性シグナル伝達経路を介して細胞傷害活性を誘導する)
Journal of Investigative Dermatology. 134(2) : 396-404 (2014.2)

指宿敦子 : 総研第 280 号 博士 (医学) [平成 26 年 4 月 25 日授与]

- 2) 『Temporal expression of wound healing-related genes in skin burn injury.』
(皮膚熱傷における損傷治癒関連分子の経時的発現
- 熱傷の受傷後経過時間推定法の開発 -)
Legal Medicine. 16(1) : 8-13 (2014.1)

久保秀通 : 総研第 284 号 博士 (医学) [平成 26 年 4 月 25 日授与]

XVII. 専門医取得者

下川充芳

指宿敦子

山筋好子

坂ノ上正直

XVIII. 教室員の動向

- 【教 授】 金蔵拓郎
- 【准教授】 松下茂人 (2014.6 迄)
- 【講 師】 東 裕子 藤井一恭 米良健太郎 (2014.8～)
- 【助 教】 吉福明日香 (2014.9～) 米良健太郎 (2014.7 迄) 内田洋平
 多田浩一 下川充芳
- 【医 員】 青木恵美 西馬場理恵 指宿敦子 (2014.9.6 迄)
 山筋好子 (2014.9.21 迄) 馬場淳徳 畠中美帆 (2014.7.7 迄)
 勝江浩未 有村亜希子 (2014.11.7 迄) 地村 望
 川平尚生
- 【大学院生】 山田きよ子 久保秀通 (2014.4 迄) 山筋好子
 指宿敦子 (2014.4 迄) 畠中美帆 久留光博
 馬場淳徳 馬場直子
- 【部内研究生】 な し
- 【部外研究生】 寺崎祐太郎
- 【客員研究員】 河井一浩
- 【医 局 長】 米良健太郎
- 【病棟医長】 多田浩一
- 【外来医長】 西馬場理恵
- 【出 向 者】 三好逸男：鹿児島市立病院
 児浦純義(生)：今給黎病院 玉井真理子：今給黎病院
 坂口郁代：済生会川内病院
 馬場直子：春陽会中央病院 坂ノ上正直：鹿児島県立大島病院
- 【外国留学】 内田洋平 (ミュンスター大学)
- 【国内留学】 な し
- 【外国人留学生】 な し

【外国人帰国者】 な し

【退 局 者】 松下茂人 (2014.7.1) 坂元亮子 米良健太郎
 青木恵美

【退 職 者】 な し

【新規就職者】 川平尚生

【出産・育児休暇・休職】 坂元亮子 吉福明日香 (2014.8 迄)
 指宿敦子 (2014.9.7～) 山筋好子 (2014.9.22～)
 畠中美帆 (2014.7.8～) 有村亜希子 (2014.11.8～)

2015 (H27) 年 4 月～2016 (H28) 年 3 月

I. 著 書

【欧文著書】

- 1) $\gamma\delta$ T cells
Kawai K
Immunology of the Skin: Basic and Clinical Sciences in Skin Immune Responses
: 95-111 (2016.3)
- 2) Cutaneous Lymphomas
Simone M. Goldinger, Emmanuella Guenova, Fujii K, Mirjana Urosevic-Maiwald.
Immunology of the Skin: Basic and Clinical Sciences in Skin Immune Responses
: 463-476 (2016.3)

【和文著書】

- 1) 皮膚がんはどんながんですか？
金蔵拓郎
診療や相談に役立つがん患者 100 の質問 : 150-151 (2015.4)
- 2) 皮膚がんはどうやって診断しますか？
金蔵拓郎
診療や相談に役立つがん患者 100 の質問 : 152-153 (2015.4)
- 3) 皮膚がんはどのように治療しますか？
金蔵拓郎
診療や相談に役立つがん患者 100 の質問 : 154-155 (2015.4)
- 4) 日焼けで皮膚がんは増えますか？
金蔵拓郎
診療や相談に役立つがん患者 100 の質問 : 156-157 (2015.4)
- 5) 科学的根拠に基づく皮膚悪性腫瘍診療ガイドライン第2版 (2015.7)
日本皮膚科学会、日本皮膚悪性腫瘍学会 (河井一浩)
- 6) 日本皮膚科学会ガイドライン 膿疱性乾癬 (汎発型) 診療ガイドライン 2014 年度版
照井 正、秋山真志、池田志孝、小澤 明、金蔵拓郎、黒澤美智子、小宮根真弓、
佐野栄紀、根本 治、武藤正彦、山西清文、岩月啓氏、青山裕美、今井康友、
中島喜美子、馬渕智生、藤田英樹、葉山惟大、
日本皮膚科学会膿疱性乾癬 (汎発型) 診療ガイドライン作成委員会
日本皮膚科学会雑誌 125 (12) : 2211-2257 (2015.11)
- 7) 知っておきたい基礎用語「顆粒球吸着療法」について
坂ノ上正直、金蔵拓郎
日本小児皮膚科学会雑誌 34 (3) : 236 (2015.12)

Ⅱ．総説

【欧文総説】

ナ シ

【和文総説】

- 1) 蛍光標識二次元電気泳動による HDAC 阻害剤の治療抵抗性原因タンパク質の同定
藤井一恭
電気泳動 59 (1) : 13-16 (2015)

Ⅲ. 原 著

【欧文原著】

- 1) Granulocyte and monocyte adsorption apheresis for paradoxical reaction to infliximab.
Arimura A, Hatanaka M, Katsue H, Matsushita S, Kanekura T.
J. Dermatol. 42(4): 438-439 (2015.4)
- 2) Dermal V γ 4(+) $\gamma\delta$ T cells possess a migratory potency to the draining lymph nodes and modulate CD8(+) T-cell activity through TNF- α production.
Nakamizo S, Egawa G, Tomura M, Sakai S, Tsuchiya S, Kitoh A, Honda T, Otsuka A, Nakajima S, Dainichi T, Tanizaki H, Mitsuyama M, Sugimoto Y, Kawai K, Yoshikai Y, Miyachi Y, Kabashima K*.
J. Invest. Dermatol. 135(4): 1007-1015 (2015.4)
- 3) Clues to diagnosis for unusual mucosal pemphigus demonstrating undetectable anti-desmoglein3 serum antibodies by routine tests.
Kamiya K, Aoyama Y, Yamaguchi M, Ukida A, Mizuno-Ikeda K, Fujii K, Hamada T, Tokura Y, Iwatsuki K.
J. Dermatol. 42(6): 572-579 (2015.6)
- 4) Current skin symptoms of Yusho patients exposed to high levels of 2,3,4,7,8-pentachlorinated dibenzofuran and polychlorinated biphenyls in 1968.
Mitoma C, Mine Y, Utani A, Imafuku S, Muto M, Akimoto T, Kanekura T, Furue M, Uchi H.
Chemosphere. 137: 45-51 (2015.10)
- 5) Clinical characteristics associated with BRAF, NRAS and KIT mutations in Japanese melanoma patients.
Sakaizawa K, Ashida A, Uchiyama A, Ito T, Fujisawa Y, Ogata D, Matsushita S, Fujii K, Fukushima S, Shibayama Y, Hatta N, Takenouchi T, Uehara J, Okuyama R, Yamazaki N, Uhara H.
J. Dermatol. Sci. 80(1): 33-37 (2015.10)
- 6) Versican upregulation in Sézary cells alters growth, motility and resistance to chemotherapy.
Fujii K, Karpova MB, Asagoe K, Georgiev O, Dummer R, Urošević-Maiwald M.
Leukemia. 29(10): 2024-2032 (2015.10)
- 7) CD4/CD8 double-negative T-cell lymphoma: a variant of primary cutaneous CD8+ aggressive epidermotropic cytotoxic T-cell lymphoma?
Miyachi T, Abe R, Morita Y, Adachi M, Shiba K, Hamada Y, Saito N, Nishimura M, Ibata M, Okada K, Shigematsu A, Endo T, Kawai K, Teshima T, Shimizu H.
Acta. Derm. Venereol. 95(8): 1024-1025 (2015.11)
- 8) Toward the Clonotype Analysis of Alopecia Areata-Specific, Intralesional Human CD8+ T Lymphocytes.
Bertolini M, Uchida Y, Paus R.
J. Investig. Dermatol. Symp. Proc. 17(2): 9-12 (2015.11)
- 9) Treatment and survival among 1594 patients with ATL.
Katsuya H, Ishitsuka K, Utsunomiya A, Hanada S, Eto T, Moriuchi Y, Saburi Y, Miyahara M, Sueoka E, Uike N, Yoshida S, Yamashita K, Tsukasaki K, Suzushima H, Ohno Y, Matsuoka H, Jo T, Amano M, Hino R, Shimokawa M, Kawai K, Suzumiya J, Tamura K:
ATL-Prognostic Index Project.
Blood. 126(24): 2570-2577(2015.12)

- 10) Human T-lymphotropic virus type I proviral loads in patients with adult T-cell leukemia-lymphoma: Comparison between cutaneous type and other subtypes.
Yonekura K, Utsunomiya A, Seto M, Takatsuka Y, Takeuchi S, Tokunaga M, Kubota A, Takeda K, Kanzaki T, Uchida Y, Kawai K, Kanekura T.
J. Dermatol. 42(12): 1143-1148 (2015.12)
- 11) Bilateral diffuse uveal melanocytic proliferation with mucocutaneous pigmentation.
Tada K, Higashi Y, Uchida Y, Kawai K, Nakao K, Misono T, Shinmura M, Kanekura T.
J. Dermatol. 42(12): 1183-1185 (2015.12)
- 12) Darier's Disease with Esophageal Involvement.
Baba A, Yonekura K, Takeda K, Kawai K, Kanekura T.
Acta. Dermatovenerol. Croat. 23(3): 218-219 (2015)
- 13) Elevation of serum KL-6 in patients with psoriasis treated with anti-tumour necrosis factor- α therapy.
Higashi Y, Tada K, Shimokawa M, Kawai K, Kanekura T.
Clin. Exp. Dermatol. 41(1): 88-90 (2016.1)
- 14) Scleromyxedema clinically resembling to scleroderma.
Aoki M, Matsushita S, Kawai K, Kanekura T.
Ind. J. Dermatol. 61(1): 127 (2016.1)
- 15) Skin eruption elicited by magnesium oxide (Maglax®).
Sakanoue M, Sanada J, Kanekura T.
J. Dermatol. 43(2): 221-222 (2016.2)
- 16) Genetic analyses of oculocutaneous albinism types 2 and 4 with eight novel mutations.
Okamura K, Araki Y, Abe Y, Shigyou A, Fujiyama T, Baba A, Kanekura T, Chinen Y, Kono M, Niizeki H, Tsubota A, Konno T, Hozumi Y, Suzuki T.
J. Dermatol. Sci. 81(2): 140-142 (2016.2)

【和文原著】

- 1) メルケル細胞癌における腫瘍巣への CD8 陽性細胞の浸潤と予後の検討
青木恵美、松下茂人、金蔵拓郎
形成外科 58 (9) : 1029-1034 (2015.9)
- 2) 鼠径リンパ節郭清後に発生した鼠径部特殊型ヘルニアの 1 例
井上真岐、門野 潤、中藺俊博、基 俊介、馬場淳徳、井本 浩
日本臨床外科学会雑誌 76 (10) : 2577-2581 (2015.10)
- 3) Nonepisodic angioedema associated with eosinophilia の 1 例
馬場直子
皮膚科の臨床 58 (2) : 304-305 (2016.2)

IV. その他

- 1) 医局を移って見たら
藤井一恭
臨床皮膚科 69 (5) : 146 (2015.4)
- 2) 編集後記
金蔵拓郎
日本アフェレシス学会雑誌 34 (2) (2015.5)
- 3) 褥瘡（じょくそう）対策委員会
馬場淳徳
県病院だより 24 : 7 (2015.8)
- 4) 最近話題のニッチな皮膚リンパ腫関連疾患
金蔵拓郎
第 114 回日本皮膚科学会総会 記録集「Derma Derma」: 48~49 (2016.1)

V. 学会発表

【国際・特別（招請）講演】

- 1) Granulocyte and monocyte adsorption apheresis for neutrophilic dermatoses and pustular psoriasis.
Kanekura T.
The 2015 Annual meeting of Hunan Society of Dermatology
October 31, 2015 Changsha, China

【国際・一般講演】

ナ シ

【国際・教育講演】

ナ シ

【国際・シンポジウム】

- 1) Management of HTLV-1-associated cutaneous lymphoma.
Kanekura T.
23rd World Congress of Dermatology
June 12, 2015 Vancouver, Canada

【国際・ワークショップ】

ナ シ

【国際・セミナー】

ナ シ

【国際・一般演題】

- 1) Prognostic index for chronic and smoldering types adult T-cell leukemia/lymphoma.
Katsuya H, Shimokawa M, Ishitsuka K, Kawai K, Amano M, Utsunomiya A, Hino R, Hanada S, Jo T, Tsukasaki K, Moriuchi Y, Sueoka E, Yoshida S, Suzushima H, Miyahara M, Yamashita K, Eto T, Yamanaka T, Suzumiya J, Tamura K.
2015 ASCO Annual Meeting
May 29-June 2, 2014 Chicago, USA
- 2) Versican up-regulation in Sézary cells.
Fujii K, Karpova M, Asagoe K, Georgiev O, Kanekura T, Iwatsuki K, Dummer R, Urosevic-Maiwald M.
45th Annual ESDR Meeting
September 9-12, 2015 Rotterdam, Netherlands

- 3) Silk fibroin produced by transgenic silkworms overexpressing the Arg-Gly-Asp motif accelerates cutaneous wound healing in mice.
Baba A, Kitayama K, Asakura T, Sezutsu H, Tanimoto A, Kanekura T.
45th Annual ESDR Meeting
September 9-12, 2015 Rotterdam, Netherlands
- 4) Do $\gamma\delta$ T cells contribute to human hair biology and pathology?
Uchida Y, Bertolini M, Kanekura T, Rossi A, Paus R.
45th Annual ESDR Meeting
September 9-12, 2015 Rotterdam, Netherlands
- 5) The sebaceous gland shows differential responses to spontaneous and induced cycling.
Hinde E, Foster A, Imanishi A, Schneider MR, Kawai K, Matos TR, Haslam I, Paus R.
45th Annual ESDR Meeting
September 9-12, 2015 Rotterdam, Netherlands
- 6) A novel biomarker, CADM-1/TSLC1 for aggressive Sézary syndrome: comparison with the soluble form in sera.
Yamaguchi M, Hamada T, Morizane S, Sugaya M, Iwata H, Fujii K, Imada M, Morishita K, Ohshima K, Iwatsuki K.
45th Annual ESDR Meeting
September 9-12, 2015 Rotterdam, Netherlands
- 7) Does human skin harbor macrophage progenitors?
Gherardini J, Chéret J, Alam M, Uchida Y, Bertolini M, Paus R.
45th Annual ESDR Meeting
September 9-12, 2015 Rotterdam, Netherlands
- 8) Vasoactive intestinal peptide (VIP) is a novel, complex neuroendocrine regulator of human HF melanocyte biology *in situ*.
Bertolini M, Bähr M, Sulk M, Ponce L, Uchida Y, Chéret J, Loser K, Biró T, Tobin DJ, Paus R.
45th Annual ESDR Meeting
September 9-12, 2015 Rotterdam, Netherlands
- 9) HSP72 reduces HDAC inhibitor sensitivity.
Fujii K, Suzuki N, Idogawa M, Kondo T, Iwatsuki K, Kanekura T.
EORTC Cutaneous Lymphoma Task Force Meeting 2015
September 25-27, 2015 Torino, Italy
- 10) Do $\gamma\delta$ T cells contribute to human hair biology and pathology?
Uchida Y, Bertolini M, Kanekura T, Rossi A, Paus R.
7th International Conference on Autoimmunity
September 29-October 4, 2015 Crete, Greece
- 11) Prognostic index for chronic and smoldering types adult T-cell leukemia/lymphoma.
Ishitsuka K, Katsuya H, Shimokawa M, Kawai K, Suzumiya J, Tamura K.
8th Annual T-cell Lymphoma Forum
January 28-30, 2016 San Francisco, USA

【国際・その他】

ナ シ

【国内・特別（招請）講演】

- 1) 鹿児島大学医学部 50 年の歩み
金蔵拓郎（鹿児島大学大学院皮膚科学）
鹿児島大学皮膚科開講 50 周年記念鹿寿会
2015 年 4 月 18 日 鹿児島
- 2) 薬疹の診断と治療
下川充芳（鹿児島大学大学院皮膚科学）
最新の糖尿病治療戦略
2015 年 7 月 2 日 鹿児島
- 3) 膿疱性乾癬に対する顆粒球吸着除去療法
金蔵拓郎（鹿児島大学大学院皮膚科学）
第 18 回病診連携四水会
2015 年 7 月 9 日 和歌山
- 4) 【第 15 回奨励賞受賞講演】蛍光標識二次元電気泳動による HDAC 阻害剤の治療抵抗性原因タンパク質の同定
藤井一恭（鹿児島大学大学院皮膚科学）
第 66 回日本電気泳動学会総会
2015 年 9 月 4～5 日 東京
- 5) 皮膚と紫外線
金蔵拓郎（鹿児島大学大学院皮膚科学）
鶴陵会愛媛支部総会/南九州医歯薬交流会
2015 年 9 月 19 日 松山
- 6) 重症薬疹
下川充芳（鹿児島大学大学院皮膚科学）
第 4 回鹿児島アレルギー講習会
2016 年 2 月 25 日 鹿児島

【国内・一般講演】

ナ シ

【国内・教育講演】

- 1) CD147/Basigin と癌
金蔵拓郎（鹿児島大学大学院皮膚科学）
愛媛大学大学院分子病態医学セミナー
2015 年 9 月 18 日 松山
- 2) 皮膚疾患に対する顆粒球吸着除去療法
金蔵拓郎（鹿児島大学大学院皮膚科学）
田辺三菱製薬講師招聘勉強会
2015 年 10 月 21 日 福岡

【国内・シンポジウム】

- 1) 蛍光二次元電気泳動を用いた HDAC 阻害剤の併用療法のターゲットの探索
藤井一恭 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
第 11 回日本臨床プロテオーム研究会
2015 年 5 月 23 日 東京
- 2) 皮膚悪性リンパ腫に対する薬物療法・免疫療法
藤井一恭 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
第 31 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会
2015 年 7 月 3～4 日 大阪
- 3) 膿疱性乾癬における GMA 治療と市販後調査
坂ノ上正直 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
第 36 回日本アフェレシス学会学術大会
2015 年 10 月 30～31 日 川越

【国内・ワークショップ】

- 1) シルクフィブロインを用いた新規創傷被覆材の開発
馬場淳徳 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
第 67 回日本皮膚科学会西部支部学術大会
2015 年 10 月 17～18 日 長崎

【国内・セミナー】

- 1) 皮膚疾患に対する顆粒球吸着療法
坂ノ上正直 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
第 39 回日本小児皮膚科学会学術大会
2015 年 7 月 18～19 日 鹿児島
- 2) A new therapy for generalized pustular psoriasis: Granulocyte and Monocyte Adsorption Apheresis.
Kanekura T (Department of Dermatology, Kagoshima University Graduate School of Medical and Dental Sciences)
日本研究皮膚科学会第 40 回年次学術大会・総会
2015 年 12 月 13 日 岡山

【国内・一般演題】

- 1) 2014 年鹿児島大学病院皮膚科外来、紹介患者、パッチテスト統計
西馬場理恵、吉福明日香、川平尚生、地村 望、有村亜希子、勝江浩未、青木恵美、
島中美帆、馬場直子、馬場淳徳、山筋好子、指宿敦子、多田浩一、下川充芳、
米良健太郎、久保秀通、武田浩一郎、藤井一恭、東 裕子、松下茂人、金蔵拓郎
(鹿児島大学大学院皮膚科学)
第 171 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
2015 年 4 月 19 日 鹿児島

- 2) 2014年鹿児島大学病院皮膚科入院患者統計
 多田浩一、川平尚生、有村亜希子、地村 望、勝江浩未、青木恵美、畠中美帆、
 馬場直子、馬場淳徳、久留光博、山筋好子、指宿敦子、下川充芳、西馬場理恵、
 米良健太郎、吉福明日香、久保秀通、武田浩一郎、藤井一恭、東 裕子、松下茂人、
 金蔵拓郎（鹿児島大学大学院皮膚科学）
 第171回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
 2015年4月19日 鹿児島
- 3) 2014年鹿児島大学病院皮膚科死亡患者
 地村 望、多田浩一、川平尚生、有村亜希子、勝江浩未、青木恵美、畠中美帆、
 馬場直子、馬場淳徳、山筋好子、指宿敦子、下川充芳、西馬場理恵、米良健太郎、
 吉福明日香、久保秀通、武田浩一郎、藤井一恭、東 裕子、松下茂人、金蔵拓郎
 （鹿児島大学大学院皮膚科学）
 第171回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
 2015年4月19日 鹿児島
- 4) 2014年鹿児島大学病院皮膚科手術統計
 勝江浩未、多田浩一、西馬場理恵、川平尚生、有村亜希子、地村 望、青木恵美、
 畠中美帆、馬場直子、馬場淳徳、山筋好子、指宿敦子、下川充芳、米良健太郎、
 吉福明日香、久保秀通、武田浩一郎、藤井一恭、東 裕子、松下茂人、金蔵拓郎
 （鹿児島大学大学院皮膚科学）
 第171回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
 2015年4月19日 鹿児島
- 5) 県立大島病院の皮膚症例
 坂ノ上正直（県立大島病院皮膚科）
 第171回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
 2015年4月19日 鹿児島
- 6) 今給黎総合病院で経験した症例から
 玉井真理子¹、児浦純生¹、美園俊祐²、川畠寿史²、有村愛子³
 （¹今給黎総合病院皮膚科、²同呼吸器内科、³同糖尿病内科）
 第171回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
 2015年4月19日 鹿児島
- 7) BCG接種後に生じた腺病性苔癬の1例
 吉福明日香¹、東 裕子¹、藤井一恭¹、四本秀昭²、金蔵拓郎¹
 （¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²鹿児島市）
 第171回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
 2015年4月19日 鹿児島
- 8) 尋常性天疱瘡の1例
 三好逸男¹、馬場國昭²（¹鹿児島市立病院皮膚科、²鹿児島市）
 第171回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
 2015年4月19日 鹿児島

- 9) ニボルマブが奏功した悪性黒色腫の1例
川平尚生¹、下川充芳¹、多田浩一¹、藤井一恭¹、東 裕子¹、吉井典子²、金蔵拓郎¹
(¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²鹿児島市)
第171回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
2015年4月19日 鹿児島
- 10) 平成27年度鹿児島大学大学院医歯学総合研究科感覚器病学講座皮膚科学教室の体制
下川充芳(鹿児島大学大学院皮膚科学)
第171回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
2015年4月19日 鹿児島
- 11) Atypical fibrous histiocytoma の1例
地村 望¹、東 裕子¹、勝江浩未¹、北菌育美²、平木 翼²、藤井一恭¹、谷本昭英²、
金蔵拓郎¹(¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²同分子細胞病理学)
第114回日本皮膚科学会総会
2015年5月29～31日 横浜
- 12) 腸管囊腫様気腫症をきたした皮膚筋炎の1例
川平尚生¹、青木恵美¹、有村亜希子¹、地村 望¹、多田浩一¹、藤井一恭¹、東 裕子¹、
武田浩一郎²、金蔵拓郎¹(¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²今村病院分院皮膚科)
第114回日本皮膚科学会総会
2015年5月29～31日 横浜
- 13) 酸化マグネシウム(マグラックス®)による薬疹の1例
坂ノ上正直¹、金蔵拓郎²(¹県立大島病院皮膚科、²鹿児島大学大学院皮膚科学)
第114回日本皮膚科学会総会
2015年5月29～31日 横浜
- 14) 右上眼瞼に生じた末梢性T細胞リンパ腫、非特定の1例
東 裕子¹、藤井一恭¹、河井一浩^{1,2}、平木 翼³、金蔵拓郎¹
(¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²木戸病院皮膚科、³鹿児島大学大学院分子細胞病理学)
第31回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会
2015年7月3～4日 大阪
- 15) 生検後に縮小したEBER陰性Diffuse large B cell lymphoma (DLBCL)
地村 望、藤井一恭、馬場淳徳、勝江浩未、東 裕子、金蔵拓郎
(鹿児島大学大学院皮膚科学)
第31回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会
2015年7月3～4日 大阪
- 16) リンパ節転移を認めたDermatofibrosarcoma protuberans (DFSP)の1例
多田浩一、青木恵美、地村 望、有村亜希子、勝江浩未、金蔵拓郎
(鹿児島大学大学院皮膚科学)
第31回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会
2015年7月3～4日 大阪

- 17) 治療に難渋したエクリン汗孔癌の1例
川平尚生¹、地村 望¹、有村亜希子¹、多田浩一¹、下川充芳¹、藤井一恭¹、東 裕子¹、
青木恵美^{1,2}、松下茂人^{1,2}、金蔵拓郎¹ (鹿児島大学大学院皮膚科学、
²鹿児島医療センター皮膚科)
第31回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会
2015年7月3~4日 大阪
- 18) クロウン病患者に生じた肉芽腫性外陰炎
藤井一恭、勝江浩未、西馬場理恵、東 裕子、金蔵拓郎 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
日本皮膚科学会第373回福岡地方会名嘉眞武国皮膚科主任教授就任記念
2015年7月4~5日 久留米
- 19) 抗RNAポリメラーゼIII抗体陽性の強皮症の2例
松岡温子¹、地村 望¹、川平尚生¹、勝江浩未¹、下川充芳¹、多田浩一¹、藤井一恭¹、
東 裕子¹、片平充彦²、金蔵拓郎¹ (鹿児島大学大学院皮膚科学、²鹿児島市)
第172回日本皮膚科学会鹿児島地方会
2015年7月12日 鹿児島
- 20) 尿道浸潤をきたしたQueyrat紅色肥厚症の1例
久留敏晴¹、川平尚生¹、多田浩一¹、藤井一恭¹、東 裕子¹、井上久仁子²、栢木太郎³、
井手迫俊彦³、金蔵拓郎¹ (鹿児島大学大学院皮膚科学、²水俣市立総合医療センター、
³同泌尿器科)
第172回日本皮膚科学会鹿児島地方会
2015年7月12日 鹿児島
- 21) 治療に難渋したエクリン汗孔癌の1例
川平尚生¹、青木恵美²、地村 望¹、有村亜希子¹、多田浩一¹、下川充芳¹、松下茂人²、
藤井一恭¹、東 裕子¹、金蔵拓郎¹ (鹿児島大学大学院皮膚科学、
²鹿児島医療センター)
第172回日本皮膚科学会鹿児島地方会
2015年7月12日 鹿児島
- 22) リンパ節転移を認めたFibrosarcomatous Dermatofibrosarcoma Protuberans (FS-DFSP) の1例
多田浩一、青木恵美、地村 望、有村亜希子、勝江浩未、藤井一恭、東 裕子、
金蔵拓郎 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
第172回日本皮膚科学会鹿児島地方会
2015年7月12日 鹿児島
- 23) Cowden病の1例
下川充芳、藤井一恭、東 裕子、金蔵拓郎 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
第172回日本皮膚科学会鹿児島地方会
2015年7月12日 鹿児島
- 24) 変動性紅斑角皮症の親子発症例
西馬場理恵¹、山筋好子¹、地村 望¹、藤井一恭¹、東 裕子¹、松田光弘²、
名嘉眞武國²、金蔵拓郎¹ (鹿児島大学大学院皮膚科学、²久留米大学皮膚科学)
第172回日本皮膚科学会鹿児島地方会
2015年7月12日 鹿児島

- 25) 弾性線維性仮性黄色腫 (Pseudoxanthoma elasticum: PXE) の1例
久留光博、児浦純生 (今給黎総合病院皮膚科)
第172回日本皮膚科学会鹿児島地方会
2015年7月12日 鹿児島
- 26) 済生会川内病院で経験した症例
坂口郁代 (済生会川内病院皮膚科)
第172回日本皮膚科学会鹿児島地方会
2015年7月12日 鹿児島
- 27) 膿疱性乾癬に対する顆粒球吸着除去療法の市販後使用成績調査 (3年次)
東 裕子、坂ノ上正直、金蔵拓郎 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
第30回日本乾癬学会学術大会
2015年9月4~5日 名古屋
- 28) 掌蹠膿疱症に対するGMA治療
坂ノ上正直、東 裕子、藤井一恭、吉福明日香、多田浩一、下川充芳、西馬場理恵、
指宿敦子、地村 望、川平尚生、久留敏晴、松岡温子、金蔵拓郎
(鹿児島大学大学院皮膚科学)
第30回日本乾癬学会学術大会
2015年9月4~5日 名古屋
- 29) 船上火災による気道熱傷を合併した全身熱傷の1症例
中 弁護¹、末永勝士²、中村健太郎¹、馬場淳徳²、原 純¹、服部淳一¹
(¹県立大島病院救急科、²同皮膚科)
第12回鹿児島県臨床研修医合同研修会
2015年9月12日 鹿児島
- 30) セザリ細胞におけるパーシカンの発現亢進
藤井一恭^{1,2,3}、岩月啓氏²、金蔵拓郎³ (¹チューリッヒ大学医学部皮膚科学、
²岡山大学医学部皮膚科学、³鹿児島大学大学院皮膚科学)
第74回日本癌学会学術総会
2015年10月8~10日 名古屋
- 31) CADM1/TSLC1 発現は進行性セザリ一症候群の生物学的マーカーである
岩月啓氏¹、岩田浩明²、藤井一恭³、森下和広⁴、大島孝一⁵
(¹岡山大学医学部皮膚科学、²北海道大学医学部皮膚科学、
³鹿児島大学大学院皮膚科学、⁴宮崎大学医学部医科学、⁵久留米大学医学部病理学)
第74回日本癌学会学術総会
2015年10月8~10日 名古屋

- 32) Prognostic index for chronic and smoldering types adult T-cell leukemia/lymphoma.
Katsuya H¹, Shimokawa M², Ishitsuka K¹, Kawai K³, Amano M⁴, Utsunomiya A⁵, Hino R⁶, Hanada S⁷, Jo T⁸, Tsukasaki K⁹, Suzumiya J¹⁰, Tamura K¹ (¹Division of Medical Oncology, Hematology and Infectious Diseases, Department of Medicine, School of Medicine, Fukuoka University, ²Clinical Research Institute, National Kyushu Cancer Center, ³Department of Dermatology, Kagoshima University Graduate School of Medical and Dental Sciences, ⁴Department of Dermatology, Miyazaki University, ⁵Department of Hematology, Imamura Bun-in Hospital, ⁶Department of Dermatology, University of Occupational and Environmental Health, ⁷Department of Hematology, National Hospital Organization Kagoshima Medical Center, ⁸Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagasaki Genbaku Hospital, ⁹Department of Hematology, Atomic Bomb Disease and Hibakusha Medicine Unit, Atomic Bomb Disease Institute, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Science, ¹⁰Cancer Center, Shimane University Hospital)
第 77 回日本血液学会学術集会
2015 年 10 月 16～18 日 金沢
- 33) 低色素性基底細胞癌 (BCC) の 1 例
末永勝士、馬場淳徳 (県立大島病院皮膚科)
第 51 回鹿児島県立病院学会
2015 年 10 月 17 日 鹿児島
- 34) 自己抗体の陰転化後に出現した限局性尋常性天疱瘡
川平尚生¹、藤井一恭¹、吉福明日香¹、勝江浩未¹、馬場淳徳¹、東 裕子¹、青山裕美²、
金蔵拓郎¹ (¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²川崎医科大学附属川崎病院皮膚科)
第 67 回日本皮膚科学会西部支部学術大会
2015 年 10 月 17～18 日 長崎
- 35) 診断に苦慮した類上皮肉腫の一例
久留敏晴、西馬場理恵、吉福明日香、藤井一恭、東 裕子、金蔵拓郎
(鹿児島大学大学院皮膚科学)
第 67 回日本皮膚科学会西部支部学術大会
2015 年 10 月 17～18 日 長崎
- 36) メトトレキサート関連リンパ腫様肉芽腫症の 1 例
地村 望¹、東 裕子¹、吉満 誠²、義岡孝子³、藤井一恭¹、河井一浩^{1,4}、谷本昭英³、
金蔵拓郎¹ (¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²同血液膠原病内科、³同分子細胞病理学、
⁴木戸病院皮膚科)
第 67 回日本皮膚科学会西部支部学術大会
2015 年 10 月 17～18 日 長崎
- 37) Transformation を経て全身リンパ節浸潤を来たした皮膚原発細胞傷害性 T 細胞リンパ腫の 1 例
藤永瑞穂¹、生野知子¹、石川一志¹、島田浩光¹、波多野豊¹、梨本佑子²、幸野和洋²、
緒方正男²、中村栄男³、馬場淳徳⁴、河井一浩⁴、金蔵拓郎⁴、米倉健太郎⁵、藤原作平¹
(¹大分大学皮膚科学、²同血液内科、³名古屋大学病理部、⁴鹿児島大学大学院皮膚科学、
⁵今村病院分院皮膚科)
第 67 回日本皮膚科学会西部支部学術大会
2015 年 10 月 17～18 日 長崎

- 38) CD147 depletion induces the phosphorylation of EGFR by down regulating cdc25c
 Hatanaka M¹, Higashi Y¹, Kawai K¹, Su J², Zeng W², Chen X², Kanekura T¹ (¹Department of Dermatology, Kagoshima University Graduate School of Medical and Dental Sciences, ²Department of Dermatology, XiangYa Hospital, Central South University, Changsha, Hunan, China)
 第 29 回表皮細胞研究会
 2015 年 11 月 14 日 佐賀
- 39) 中枢神経浸潤をきたした BPDCN の 1 例
 川平尚生¹、藤井一恭¹、久留敏晴¹、勝江浩未¹、多田浩一¹、下川充芳¹、東 裕子¹、後藤優子²、畑中一仁²、谷本昭英²、金蔵拓郎¹ (¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²同分子細胞病理学)
 日本皮膚科学会第 143 回宮崎地方会 天野正宏教授就任記念
 2015 年 11 月 14 日 宮崎
- 40) 高濃度グルコース局所塗布の創傷治癒効果 アトピー性皮膚炎モデルマウスによる解析
 山田きよ子^{1,2}、松下健二^{2,3}、指宿敦子¹、王 静舒^{2,3}、金蔵拓郎¹
 (¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²国立長寿医療研究センター口腔疾患研究部、³鹿児島大学大学院長寿口腔科学)
 第 45 回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会総会学術大会
 2015 年 11 月 20～22 日 島根
- 41) DLST で多剤陽性の再発を繰り返す Stevens-Johnson 症候群の 1 例
 地村 望、藤井一恭、松岡温子、多田浩一、東 裕子、金蔵拓郎
 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
 第 45 回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会総会学術大会
 2015 年 11 月 20～22 日 島根
- 42) BCG 接種後に生じた腺病性苔癬の 1 例
 多田浩一、吉福明日香、東 裕子、藤井一恭、金蔵拓郎 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
 第 45 回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会総会学術大会
 2015 年 11 月 20～22 日 島根
- 43) メトトレキサート内服中に悪性黒色腫と乳癌を合併した 1 例
 地村 望¹、松岡温子¹、有村亜希子¹、勝江浩未¹、馬場淳徳¹、多田浩一²、平田宗嗣²、猿渡 浩³、藤井一恭¹、東 裕子¹、貴島祐子²、吉中平次²、金蔵拓郎¹
 (¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²同乳腺甲状腺外科、³鹿児島市)
 第 173 回日本皮膚科学会鹿児島地方会
 2015 年 12 月 6 日 鹿児島
- 44) 原因として微小動静脈瘻の関与が考えられた右下腿の難治性皮膚潰瘍の 1 例
 久留光博、児浦純生 (今給黎総合病院皮膚科)
 第 173 回日本皮膚科学会鹿児島地方会
 2015 年 12 月 6 日 鹿児島

- 45) 2015 年皮膚科保険審査委員会からのお知らせ
 三好逸男^{1†*}、松下茂人^{2†**}、野元 茂^{3*}、久留博史^{3**} (¹ 鹿児島市立病院皮膚科、
² 鹿児島医療センター皮膚科、³ 鹿児島市) (†日皮西部支部保険委員) (*国保審査委員、
 **社保審査委員)
 第 173 回日本皮膚科学会鹿児島地方会
 2015 年 12 月 6 日 鹿児島
- 46) 広範な転移を認めた乳房外パジェット癌の 1 例
 川平尚生、久留敏晴、馬場淳徳、多田浩一、下川充芳、藤井一恭、東 裕子、金蔵拓郎
 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
 第 173 回日本皮膚科学会鹿児島地方会
 2015 年 12 月 6 日 鹿児島
- 47) 結節性硬化症に生じた solitary angiofibroma の 3 例
 松岡温子、久留敏晴、地村 望、川平尚生、多田浩一、藤井一恭、東 裕子、金蔵拓郎
 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
 第 173 回日本皮膚科学会鹿児島地方会
 2015 年 12 月 6 日 鹿児島
- 48) パゾパニブによる治療を行った血管肉腫の症例
 久留敏晴、地村 望、勝江浩未、島中美帆、山筋好子、下川充芳、藤井一恭、東 裕子、
 金蔵拓郎 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
 第 173 回日本皮膚科学会鹿児島地方会
 2015 年 12 月 6 日 鹿児島
- 49) Intravascular large B-cell lymphoma (IVL) の 1 例
 山筋好子、西馬場理恵、藤井一恭、東 裕子、金蔵拓郎 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
 第 173 回日本皮膚科学会鹿児島地方会
 2015 年 12 月 6 日 鹿児島
- 50) 発症に DPP-4 阻害薬の関与が考えられた水疱性類天疱瘡の 2 例
 指宿敦子¹、松岡温子¹、川平尚生¹、勝江浩未¹、馬場淳徳¹、多田浩一¹、藤井一恭¹、
 東 裕子¹、川畑 久²、榮樂信隆³、金蔵拓郎¹ (¹鹿児島大学大学院皮膚科学、
²薩摩川内市、³鹿児島市)
 第 173 回日本皮膚科学会鹿児島地方会
 2015 年 12 月 6 日 鹿児島
- 51) *Cryptococcus neoformans* による深在性真菌症の 1 例
 東 貞行、川平尚生、久留敏晴、多田浩一、下川充芳、藤井一恭、東 裕子、金蔵拓郎
 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
 第 79 回九州真菌懇話会
 2015 年 12 月 6 日 鹿児島
- 52) Immunological effects of granulocyte and monocyte adsorption apheresis (GMA) in the patients
 with neutrophilic dermatoses.
 Sakanoue M, Higashi Y, Kanekura T (Department of Dermatology, Kagoshima University
 Graduate School of Medical and Dental Sciences)
 日本研究皮膚科学会第 40 回年次学術大会・総会
 2015 年 12 月 11~13 日 岡山

- 53) Quercetin is a possible agent for combination therapy with vorinostat
 Fujii K, Hatanaka M, Ibusuki A, Kanekura T (Department of Dermatology, Kagoshima University Graduate School of Medical and Dental Sciences)
 日本研究皮膚科学会第40回年次学術大会・総会
 2015年12月11～13日 岡山
- 54) Silk fibroin produced by transgenic silkworms overexpressing the Arg-Gly-Asp motif accelerates cutaneous wound healing in mice
 Baba A¹, Kitayama K², Asakura T², Sezutsu H³, Tanimoto A⁴, Kanekura T¹ (¹Department of Dermatology, Kagoshima University Graduate School of Medical and Dental Sciences, ²Department of Biotechnology, Tokyo University of Agriculture and Technology, ³Transgenic Silkworm Research Unit, National Institute of Agrobiological Sciences, ⁴Department of Molecular and Cellular Pathology, Kagoshima University Graduate School of Medical and Dental Sciences)
 日本研究皮膚科学会第40回年次学術大会・総会
 2015年12月11～13日 岡山
- 55) パゾパニブによる治療を行った血管肉腫の症例
 久留敏晴¹、地村 望¹、勝江浩未¹、畠中美帆¹、山筋好子¹、馬場直子²、下川充芳¹、藤井一恭¹、東 裕子¹、金蔵拓郎¹ (¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²鹿屋市)
 第39回皮膚脈管・膠原病研究会
 2016年1月22～23日 高知
- 56) 蛋白漏出を伴う偽性腸閉塞を合併した全身性強皮症の1例
 指宿敦子、東 裕子、久留敏晴、有村亜希子、地村 望、勝江浩未、馬場淳徳、馬場直子、藤井一恭、金蔵拓郎 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
 第39回皮膚脈管・膠原病研究会
 2016年1月22～23日 高知
- 57) 眼皮膚白皮症4型(OCA4)の1例
 鈴木民夫¹、岡村 賢¹、穂積 豊¹、紺野隆之¹、馬場淳徳²、金蔵拓郎²
 (¹山形大学、²鹿児島大学大学院皮膚科学)
 赤坂英俊教授退職記念岩手地方会
 2016年2月6～7日 盛岡
- 58) 水頭症を伴った母斑性基底細胞癌症候群の1例
 畠中美帆、地村 望、久留敏晴、藤井一恭、東 裕子、金蔵拓郎
 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
 上里 博 琉球大学 皮膚科学教授 退任記念地方会
 (日本皮膚科学会第76回沖縄地方会)
 2016年2月13～14日 沖縄
- 59) 副耳を伴った片側性横顔裂の1例
 有村亜希子¹、東 裕子¹、川平尚生¹、多田浩一¹、下川充芳¹、藤井一恭¹、金蔵拓郎¹、瀧上貴央²、中村典史² (¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²同口腔顎顔面外科)
 第98回日本皮膚科学会大分地方会 (第398回大分皮膚科医会)
 2016年3月5日 大分

【国内・その他】

- 1) 〈「キャリア支援委員会」企画〉メンターによるメンティの相談会であなたのキャリアを考えてみませんか？

青山裕美¹、中島喜美子²、東 裕子³（¹川崎医科大学皮膚科、²高知大学皮膚科、³鹿児島大学大学院皮膚科学）

第 67 回日本皮膚科学会西部支部学術大会

2015 年 10 月 17～18 日 長崎

VI. 社会への貢献（マスメディア等）

【テレビ】

ナ シ

【ラジオ】

ナ シ

【新聞】

- 1) シルク 新時代「人体になじむ しみこむ」
金蔵拓郎
朝日新聞（2016年3月20日掲載）

【その他のメディア】

- 1) メディカルオンライン プロダクトエピソード「血液細胞除去用浄化器 アダカラム」
金蔵拓郎（2015年11月18日）

VII. 学会・講演会などの開催

【学会】

- 1) 第 171 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
鹿児島大学医学部鶴陵会館 2015 年 4 月 19 日
- 2) 第 39 回日本小児皮膚科学会
かごしま県民交流センター 2014 年 5 月 24 日
- 3) 第 172 回日本皮膚科学会鹿児島地方会
鹿児島大学医学部鶴陵会館 2015 年 7 月 12 日
- 4) 第 173 回日本皮膚科学会鹿児島地方会
城山観光ホテル 2015 年 12 月 6 日

【学術講演会】

- 1) 大竹 直樹（海岸通り皮膚科院長）
「私の好きな 10 処方 - 困った時に役立つ漢方治療 -」
（共催）バイエル薬品株式会社[第 27 回鹿児島地区皮膚疾患病態治療研究会]
2015 年 4 月 18 日
- 2) 福元 紳一（福元法律事務所所長）
「弁護士の立場から見た医療安全管理～皮膚科関連の裁判例を踏まえて～」
2015 年 7 月 12 日
- 3) 佐山 浩二（愛媛大学教授）
「皮膚科新専門医制度について」
2015 年 12 月 6 日
- 4) 日野 亮介（日野皮膚科医院院長）
「乾癬の外用療法のもう一工夫」
（共催）協和発酵キリン株式会社[第 22 回鹿児島皮膚アレルギー研究会]
2015 年 12 月 6 日

VIII. 学会活動

<金蔵拓郎>

- ・ 日本研究皮膚科学会（理事）
- ・ 鹿児島膠原病研究会（世話人）
- ・ 日本皮膚科学会（雑誌委員・西部支部運営委員会・代議員・西部支部学術委員）
- ・ 米国研究皮膚科学会
- ・ 日本生化学会
- ・ 日本免疫学会
- ・ 日本癌学会
- ・ 日本アレルギー学会
- ・ 日本リウマチ学会
- ・ 日本形成外科学会九州地方会
- ・ 日本リンパ網内系学会
- ・ 日本熱傷学会九州地方会
- ・ 鹿児島異種移植研究会（世話人）
- ・ 日本乾癬学会（理事）
- ・ 日本アフェレシス学会（評議員）
- ・ 鹿児島アレルギー懇話会（世話人）
- ・ 皮膚脈管・膠原病研究会（世話人）
- ・ 南九州腫瘍研究会（世話人）
- ・ 日本皮膚悪性腫瘍学会（理事）
- ・ 鹿児島県性感染症研究会（世話人）
- ・ 鹿児島地区皮膚疾患病態治療研究会（代表世話人）
- ・ 鹿児島皮膚アレルギー研究会（代表世話人）
- ・ 鹿児島皮膚疾患の治療を語る会（代表世話人）
- ・ 鹿児島救急医学会（評議員）
- ・ The Open Dermatology Journal, Editorial Board Member
- ・ 第10回日中合同皮膚科学術会議組織委員
- ・ 表皮細胞研究会（監事）
- ・ 日本褥瘡学会九州地方会（世話人）
- ・ 日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会（評議員）
- ・ Journal of Dermatological Science, Editorial Board
- ・ 日本皮膚科学会膿疱性乾癬診療ガイドライン改定委員会委員
- ・ 日本皮膚科学会医療安全対策委員
- ・ 日本皮膚科学会学会賞等選考委員
- ・ 第28回表皮細胞研究会開催（当番世話人）
- ・ 日本アフェレシス学会雑誌編集委員
- ・ 日本研究皮膚科学会推薦委員
- ・ 第39回日本小児皮膚科学会学術大会副会頭
- ・ 第40回 JSID Abstract Review

<東 裕子>

- ・ キャリア支援委員会委員
- ・ 日本皮膚科学会西部支部（代議員）
- ・ 日本研究皮膚科学会（評議員）

<藤井一恭>

- ・ 日本研究皮膚科学会（評議員）
- ・ 九州真菌懇話会（施設幹事）
- ・ 皮膚科専門医認定試験口頭試問委員

<坂ノ上正直>

- ・ 日本アフェレシス学会（評議員）

<河井一浩>

- ・ 日本皮膚科学会
- ・ 日本研究皮膚科学会（評議員）
- ・ 日本皮膚悪性腫瘍学会（評議員）
- ・ 日本免疫学会
- ・ The Society for Investigative Dermatology
- ・ International Society for Cutaneous Lymphomas
- ・ 日本臨床皮膚科医会
- ・ 皮膚脈管・膠原病研究会
- ・ The American Association of Immunologists
- ・ 日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会（代議員）
- ・ J.Dermatol. (Section Editor)

IX. Journal Review

<金蔵拓郎>

- ・日本アフェレシス学会雑誌 / Acta.Derm.Venereol. / Expert.Rev.Anticanc.Ther. / J.Dermatol. (2編)
/ J.Dermatol.Sci. / Ther.Apher.Didl.

<東 裕子>

- ・ J.Dermatol. (2編) / J.Dermatol.Sci.

<藤井一恭>

- ・ J.Dermatol. (4編) / JEADV / Eur.J.Dermatol.

<下川充芳>

- ・ J.Dermatol.

<馬場淳徳>

- ・ Int.J.Dermatol.

<河井一浩>

- ・ 日本皮膚科学会雑誌 / Exp.Dermatol. / J. Dermatol. (36編) / J.Dermatol.Sci. / J.Invest.Dermatol
/ Sci.Rep.

X. 学内活動

<金蔵拓郎>

- ・ 感覚器センター一部門科長
- ・ 研究戦略会議
- ・ 国際交流委員会
- ・ 入試実施委員会委員
- ・ 入試実施委員（医学科選出委員）
- ・ 学友会代議員会
- ・ 学位論文審査（副査1件）

XI. 学生講義

<金蔵拓郎>

- ・【医学部】[炎症性皮膚疾患 (2015.6.4 : M4)]
- ・【宮崎大学講義】[膠原病の皮膚症状 (2015.10.9 : M4)]
- ・【医学部】[膠原病の皮膚症状 (2015.12.8 : M3)]

<東 裕子>

- ・【歯学部】[水疱症 (2015.4.13 : M5)]
- ・【医学部】[乾癬・水疱症 (2015.6.11 : M4)]
- ・【研修医】[重症薬疹の診断と治療 (2015.6.26 : 研修医)]
- ・【医学部】[国師対策 (2015.7.16 : M6)]
- ・【医学部】[感染症 (2015.12.1 : M3)]

<藤井一恭>

- ・【歯学部】[腫瘍 (2015.4.27 : M5)]
- ・【医学部】[検査・治療 (2015.6.9 : M4)]
- ・【医学部】[皮膚腫瘍 (2015.6.9 : M4)]

<吉福明日香>

- ・【歯学部】[膠原病 (2015.5.11 : M5)]

<多田浩一>

- ・【歯学部】[金属アレルギーと皮膚 (2015.4.20 : M5)]

<下川充芳>

- ・【歯学部】[総論・構造機能皮疹 (2015.4.6 : M5)]
- ・【医学部】[発疹学・診断学 (2015.6.8 : M4)]
- ・【共通教育】[がんはなぜおこるのか (2015.7.16)]
- ・【共通教育】[健康を守り、創る (2015.10.14)]
- ・【看護】[皮膚科総論 (2015.10.27 : M2)]
- ・【看護】[皮膚科各論(1) (2015.11.10 : M2)]
- ・【看護】[皮膚科各論(2) (2015.11.17 : M2)]

<畠中美帆>

- ・【医学部】[発生・発達チュートリアル (2015.8.25 : M4)]
- ・【医学部】[発生・発達チュートリアル (2015.9.2 : M4)]
- ・【医学部】[発生・発達チュートリアル (2015.9.9 : M4)]
- ・【医学部】[領域別試験 試験監督 (2015.9.29 : M6)]
- ・【医学部】[医療情報・検査チュートリアル (2015.10.2 : M4)]
- ・【医学部】[領域別試験 再試験監督 (2015.10.20 : M6)]

<馬場淳徳>

- ・【県立大島病院研修医講義】[今日からできる！プライマリー皮膚科診療（2015.7.15：研修医）]
- ・【第1回褥瘡対策委員会研修会】[県立大島病院褥瘡委員会より（2015.11.10）]
- ・【第2回褥瘡対策委員会研修会】[ウソ？ホント？褥瘡のあれこれ（2016.3.9）]

<有村亜希子>

- ・【医学部】[地域・総合診療・症候チュートリアル（2016.1.18：M4）]
- ・【医学部】[地域・総合診療・症候チュートリアル（2016.1.22：M4）]

<久留敏晴>

- ・【野田女子高等学校】[成人看護学-皮膚（前半）（2015.6.4：M2）]
- ・【野田女子高等学校】[成人看護学-皮膚（後半）（2015.6.11：M2）]

<松岡温子>

- ・【鹿児島医療技術専門学校】[皮膚科全般 1/3（2015.6.1：M2）]
- ・【鹿児島医療技術専門学校】[皮膚科全般 2/3（2015.6.8：M2）]
- ・【鹿児島医療技術専門学校】[皮膚科全般 3/3（2015.6.15：M2）]

<河井一浩>

- ・【医学部】[湿疹・皮膚炎（2015.6.8：M4）]

XII. 社会活動

<金蔵拓郎>

- ・ 鹿児島県感染症発生動向調査企画委員
- ・ 鹿児島県特定疾患認定委員
- ・ 最高裁判所専門委員
- ・ 鹿児島県 ATL 制圧委員会研究推進部会委員
- ・ 大阪地方裁判所損害賠償請求事件鑑定人
- ・ 本格焼酎部会会員
- ・ 焼酎発酵副産物研究会会員
- ・ 福岡地方裁判所平成 19 年（ワ）第 309 号 損害賠償請求事件専門委員
- ・ 鹿児島県医師会評議員
- ・ 財団法人親和会評議員
- ・ 鹿児島大学医学部創立 70 周年・西洋医学開講 150 年記念事業実行委員長
- ・ カネミ油症検診

<馬場淳徳>

- ・ 県立大島病院大規模災害訓練トリアージ緑リーダー

XIII. 文部省科学省科学研究費等取得

- 1) 『腫瘍細胞の生存調節因子としての CD147/basigin の機能解析』
金蔵拓郎（代表）基盤研究（C）：494 万円
- 2) 『中国東北地方の悪性腫瘍と関連疾患の発症要因の学術調査』
金蔵拓郎（分担）基盤研究（B）（海外学術調査）：200 万円
- 3) 『有棘細胞癌・乳房外パジェット病における新規化学療法レジメンの確立と個別化への応用』
金蔵拓郎（分担）基盤研究（C）：507 万円
- 4) 『難治性皮膚疾患における新しい治療法の開発』
金蔵拓郎 受託研究
- 5) 『新規酵素の投与効果における病理学的解析』
金蔵拓郎 受託研究
- 6) 『HDAC 阻害剤の併用療法のターゲットとしての Hsp72 の可能性の探究』
藤井一恭 研究助成
- 7) 『皮膚における IL-13 産生 T 細胞の分化機構』
河井一浩（代表）基盤研究（C）：481 万円

XIV. 特 許

- 1) 『創傷被覆材および創傷被覆材の製造方法』
金蔵拓郎、岩元正孝 出願番号：2015-078834 出願日：2015 年 4 月 8 日

XV. 受 賞

【神崎賞】指宿 敦子 [平成 27 年 4 月 18 日授与]

XVI. 学位取得者

- 1) 『Japanese black vinegar “Izumi” inhibits the proliferation of human squamous cell carcinoma cells via necroptosis.』
(日本の黒酢“泉”はネクロトーシスを介してヒト扁平上皮癌細胞の増殖を阻害する)
Nutrition and Cancer. 65(7) : 1093-1097 (2013.8)

馬場直子：総研第 336 号 博士（医学）[平成 27 年 9 月 30 日授与]

XVII. 専門医取得者

多田浩一
馬場直子

玉井真理子

XVIII. 教室員の動向

- 【教 授】 金蔵拓郎
- 【准教授】 な し
- 【講 師】 東 裕子 藤井一恭
- 【助 教】 吉福明日香 内田洋平 西馬場理恵 (2015.7.1～)
多田浩一 下川充芳
- 【医 員】 西馬場理恵 (2015.6.30 迄) 指宿敦子 山筋好子 (2015.10.27～)
畠中美帆 (2015.8.12～) 坂ノ上正直 勝江浩未 (2015.5.5～)
有村亜希子 (2015.11.29～) 地村 望 川平尚生
久留敏晴 松岡温子
- 【大学院生】 山田きよ子 山筋好子 馬場直子 (2015.9 迄)
畠中美帆 久留光博 馬場淳徳
吉福明日香 坂ノ上正直
- 【部内研究生】 な し
- 【部外研究生】 寺崎祐太郎
- 【研修登録医】 米良健太郎
- 【客員研究員】 河井一浩
- 【医 局 長】 下川充芳
- 【病棟医長】 多田浩一
- 【外来医長】 西馬場理恵
- 【出 向 者】 三好逸男：鹿児島市立病院
児浦純義(生)：今給黎病院 玉井真理子：今給黎病院 (2015.5 迄)
久留光博：今給黎病院 坂口郁代：済生会川内病院(2015.8 迄)
馬場直子：春陽会中央病院 馬場淳徳：鹿児島県立大島病院
- 【外国留学】 内田洋平 (ミュンスター大学)
- 【国内留学】 な し
- 【外国人留学生】 Sunisa Thaichinda

【外国人帰国者】 な し

【退 局 者】 坂口郁代 下川充芳

【退 職 者】 な し

【新規就職者】 久留敏晴 松岡温子

【出差・育児休暇・休職】 坂口郁代（2015.9～） 山筋好子（2015.10.26 迄） 畠中美帆（2015.8.11 迄）
勝江浩未（2015.5.6～） 有村亜希子（2015.11.28 迄）